

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140566011001	科目番号	05660110
授業科目名	●日本国憲法		
編集担当教員	小林 寛		
授業担当教員名(科目責任者)	小林 寛		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小林 寛		
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	hkoba@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	428		
担当教員TEL	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー	木曜日午後3時～5時		
授業の概要及び位置づけ	日本国憲法において保障された個別の基本的人権を取り上げつつ、日本国憲法の基本原理の一つである基本的人権の尊重の理念を理解できることをねらいとします。		
授業到達目標	基本的人権の尊重の理念及び個別の基本的人権の内容や限界等について理解し、これを自らの言葉で説明できるようになることを到達目標とします。		
授業方法（学習指導法）	通常の講義形式により授業を行います。適宜発問するなどして理解を確認します。		
授業内容	本授業では、日本国憲法において保障されている基本的人権の原理・内容・限界等について講義を行います。本授業では、基本的人権を中心的テーマとしますが、それに限定せず、立憲主義・憲法史・統治機構等についても可能な範囲で言及する予定です。また、過去の具体的事件を取り上げつつ講義を行う予定です。ただし、以下に掲げるのはおおよその予定であり、解説の追加等により、適宜変更される場合もあります。		
	回	内容	
	1	イントロダクション・立憲主義の概説	
	2	憲法史の概説	
	3	日本国憲法の基本原理	
	4	基本的人権の原理と限界	
	5	包括的基本権	
	6	法の下での平等	
	7	精神的自由権①	
	8	精神的自由権②	
9	精神的自由権③		

	10	経済的自由権①
	11	経済的自由権②
	12	人身の自由・国務請求権・参政権
	13	社会権
	14	統治機構の概説①
	15	統治機構の概説②
	16	定期試験
キーワード	人権尊重主義、平和主義、国民主権原理	
教科書・教材・参考書	教科書：大隅義和・大江正昭編『憲法学へのいざない第2版』（青林書院、2012年） 参考書：芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法第五版』（岩波書店、2011年）	
成績評価の方法・基準等	定期試験（90%） 授業への積極的な取り組み状況（10%）	
受講要件（履修条件）	憲法などの法律科目に関心のある学生の受講を期待しています。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	憲法を含む法律科目に興味・関心を持って頂けたら有難く思います。憲法を勉強して、我が国は法治国家であることを理解出来るようになりますように。。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2																		
開講期間																					
必修選択	選択	単位数	2.0																		
時間割コード	20140566011002	科目番号	05660110																		
授業科目名	●日本国憲法																				
編集担当教員	吉田 省三																				
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 省三																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 省三																				
科目分類	自由選択科目、(教職免許科目他)、人文・社会科学科目																				
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																		
教室	[教養A棟]A-22																				
対象学生 (クラス等)	制限しない																				
担当教員Eメールアドレス	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp																				
担当教員研究室	経済学部本館512																				
担当教員TEL	095-820-6397																				
担当教員オフィスアワー	授業終了後																				
授業の概要及び位置づけ	日本国憲法97条は、人権を「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」とすると同時に「過去幾多の試練に堪へ」てきたという。日本国憲法は、憲法「改正」という現在の「試練」に堪えられるか、憲法を人類の歴史のなかにおいてとらえ直してみよう。																				
授業到達目標	世界および日本の憲法の歴史、憲法の基本的概念、主要な憲法判例を理解する。個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期する。																				
授業方法 (学習指導法)	教科書を使用し、人権の思想、人権のためのたたかい、日本国憲法の主要な事件、判例を解説する。																				
授業内容	<p>憲法の過去—立憲主義の歴史、現在—人権の実現の状況、未来—改憲問題について講義します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>憲法の過去：立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ブルジョア革命と人権</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>人権宣言—合州国「独立宣言」・フランス革命「人権宣言」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>日本の人権思想</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>日本国憲法とその歴史（1）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>日本国憲法とその歴史（2）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>憲法のキーワード：権利と義務（1）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>憲法のキーワード：権利と義務（2）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	憲法の過去：立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」	2	ブルジョア革命と人権	3	人権宣言—合州国「独立宣言」・フランス革命「人権宣言」	4	日本の人権思想	5	日本国憲法とその歴史（1）	6	日本国憲法とその歴史（2）	7	憲法のキーワード：権利と義務（1）	8	憲法のキーワード：権利と義務（2）
回	内容																				
1	憲法の過去：立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」																				
2	ブルジョア革命と人権																				
3	人権宣言—合州国「独立宣言」・フランス革命「人権宣言」																				
4	日本の人権思想																				
5	日本国憲法とその歴史（1）																				
6	日本国憲法とその歴史（2）																				
7	憲法のキーワード：権利と義務（1）																				
8	憲法のキーワード：権利と義務（2）																				

	9	憲法のキーワード：民主主義と権利保障（1）
	10	憲法のキーワード：民主主義と権利保障（2）
	11	憲法のキーワード：民主主義と権利保障（3）
	12	憲法のキーワード：民主主義と権利保障（4）
	13	憲法と国際社会
	14	憲法の未来：憲法「改正」問題（1）
	15	憲法の未来：憲法「改正」問題（2）
	16	定期試験
キーワード	立憲主義、民主主義、共和主義	
教科書・教材・参考書	<p>(◆は必携です)</p> <p>◆教科書 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店</p> <p>◆教材 「日本国憲法」「大日本帝国憲法」等を収録する法令集</p> <p>●参考書 中江兆民『三酔人経綸問答』岩波文庫。 森英樹ほか『3・11と憲法』日本評論社、2012。 阪田雅裕『政府の憲法解釈』有斐閣、2013。</p>	
成績評価の方法・基準等	定期試験による(100%)	
受講要件（履修条件）	無し。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	日本国民はいま、憲法の規範を政府の解釈によって変更するという差し迫った課題を突きつけられています。日本国憲法のひとつひとつの条文のもつ重みを受けとめてみましょう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140566011003	科目番号	05660110
授業科目名	●日本国憲法		
編集担当教員	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子		
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法（学習指導法）	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
	回	内容	
	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	
	2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）	
	3	平和主義（憲法9条、沖縄）	
	4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）	
	5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）	
	6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）	

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140566011004	科目番号	05660110
授業科目名	●日本国憲法		
編集担当教員	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子		
科目分類	自由選択科目、(教職免許科目他)、人文・社会科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生 (クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法)	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
	回	内容	
	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	
	2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)	
	3	平和主義 (憲法9条、沖縄)	
	4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)	
	5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)	
	6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)	

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140566011005	科目番号	05660110
授業科目名	●日本国憲法		
編集担当教員	池谷 和子		
授業担当教員名(科目責任者)	池谷 和子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池谷 和子		
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部の学生		
担当教員Eメールアドレス	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法（学習指導法）	講義＋レポートの作成		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権① 8 精神的自由権② 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 内閣 14 裁判所 15 財政・地方自治・憲法保障 		
キーワード	憲法		
教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書： 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 ・六法（出版社は問わない）も持参すること 		
成績評価の方法・基準等	毎回のレポートの合計により成績評価		

受講要件（履修条件）	4/5以上の出席が必須
備考（URL）	
学生へのメッセージ	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集（テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等）をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水6														
開講期間																	
必修選択	選択	単位数	2.0														
時間割コード	20140566011006	科目番号	05660110														
授業科目名	●日本国憲法																
編集担当教員	植木 とみ子																
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目														
教室	[教養A棟]A-23																
対象学生（クラス等）	全学生																
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp																
担当教員研究室	非常勤講師室																
担当教員TEL	092-521-6851																
担当教員オフィスアワー	eメールにて随時受け付けます																
授業の概要及び位置づけ	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します																
授業方法（学習指導法）	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																
	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。</p> <p>日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義（憲法9条、沖縄）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）	3	平和主義（憲法9条、沖縄）	4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）	5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）	6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）
回	内容																
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																
2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）																
3	平和主義（憲法9条、沖縄）																
4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）																
5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）																
6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）																

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140568003001	科目番号	05680030
授業科目名	●物理科学		
編集担当教員	松田 良信		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 良信		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 良信		
科目分類	自由選択科目、自然科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生 (クラス等)	全学年		
担当教員Eメールアドレス	ymat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部2号館E509		
担当教員TEL	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー	随時		
授業の概要及び位置づけ	<p>自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。</p> <p>本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。</p>		
授業到達目標	物理学が実に豊かな拡がりを持ってこの世界の中に存在していること、私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解し、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解くことができる。		
授業方法 (学習指導法)	講義に演習を織り込みながら、授業を行う。必要最小限の物理学リテラシーとして、広くて豊かな物理学の世界をできるだけ分かりやすい形で提示する。内容としては力学と電磁気学を中心とする古典物理学に焦点を絞る。熱力学にも軽く触れる。最後に、近代・現代物理学 (相対論、量子論、統計力学、物性論など) について、その概要と位置付けを簡単に紹介する。		
授業内容	<p>授業内容 (到達目標)</p> <p>1 回目 力学(速度、加速などを理解する)</p> <p>2 回目 力学 (運動方程式などを理解する)</p> <p>3 回目 力学 (仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)</p> <p>4 回目 力学 (運動量、角運動量などを理解する)</p> <p>5 回目 力学 (剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)</p> <p>6 回目 力学 (変形する物体の性質などを理解する)</p> <p>7 回目 熱力学 (温度、熱、熱力学第一法則などを理解する)</p> <p>8 回目 熱力学 (エントロピー、熱力学第二法則などを理解する)</p> <p>9 回目 電磁気学 (電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)</p> <p>10 回目 電磁気学 (電荷、電場、電位などを理解する)</p> <p>11 回目 電磁気学 (誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)</p>		

	<p>1 2回目 電磁気学（電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する）</p> <p>1 3回目 電磁気学（電磁誘導、インダクタンスなどを理解する）</p> <p>1 4回目 電磁気学（Maxwellの方程式、電磁波、光の性質などを理解する）</p> <p>1 5回目 現代物理学の概要（相対性理論、量子力学の位置づけを理解する）</p> <p>1 6回目 定期試験 （ホームワーク）レポート課題については授業中に指示する。</p>
キーワード	力学、熱力学、電磁気学
教科書・教材・参考書	<p>教科書：阿部龍蔵著, Essential 物理学（サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1）ISBN4-7819-1028-9</p> <p>参考書：大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と平行して複数冊を読むと良い。</p>
成績評価の方法・基準等	演習課題（40点）および最終試験（60点）の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	特になし
備考（URL）	
学生へのメッセージ	できる限り全回出席すること。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569000701	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-3A		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
	回	内容	
	1	4月9日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	4月16日 今なぜ人権教育か？ 「私たちの町再発見」（阿南重幸）	
	3	4月23日 変化する部落観（阿南重幸） ワークショップ「今なぜ人権教育か？」	
	4	4月30日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	5月7日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	5月14日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	5月21日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	5月28日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
9	6月4日 ハンセン病と差別（阿南重幸）		

	10	6月11日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	11	6月18日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	12	6月25日 部落の歴史を再考する (阿南重幸)
	13	7月2日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	14	7月9日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	15	7月16日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」 (阿南重幸)
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569000702	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
	回	内容	
	1	10月1日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	10月8日 今なぜ人権教育か？ 「私たちの町再発見」（阿南重幸）	
	3	10月15日 変化する部落観（阿南重幸） ワークショップ「今なぜ人権教育か？」	
	4	10月22日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	10月29日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	11月5日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	11月12日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	11月19日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
9	11月26日 ハンセン病と差別（阿南重幸）		

	10	12月3日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	11	12月10日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	12	12月17日 部落の歴史を再考する（阿南重幸）
	13	12月24日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	14	1月7日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	15	1月14日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」（阿南重幸）
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等は、ファイルにとじて、持参するようにしてください。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中 (前)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569001001	科目番号	05690010
授業科目名	●共同授業		
編集担当教員	白川 誠司		
授業担当教員名(科目責任者)	白川 誠司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	白川 誠司		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	seijishirakawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館3階・環321教員室		
担当教員TEL	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー	火曜16:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ	この授業の正式科目名は「第38回九州地区国立大学間合宿共同授業」といいます。その名の通り、九州各地の国立大学から学生と教員が集まり、研修・交流をとおして、特定のテーマを媒介として大学での主体的な学びの意識を深めることを目的とします。		
授業到達目標	大学で学ぶとはどういうことか考えを深め、主体的に学ぶことの意義を見いだせる。		
授業方法 (学習指導法)	5つの大学の教員による講義、討議、課外授業および学生フォーラムをおこなう予定です。		
授業内容	<p>事前学習会(前期期間中に1~2回を予定。受講生と調整の上、日時をお知らせします)と合宿により構成されています。</p> <p>合宿の期間は、8月25日(月)~28日(木)の3泊4日です。 会場は、大分県九重町にある九州地区国立大学九重共同研修所です。標高1,000mほどの夏季でも過ごしやすい立地環境にあります。 長崎大学からの受講学生数は約12名となっています。 その他、福岡教育大学(約6名)、九州大学(約12名)、佐賀大学(約12名)、琉球大学(約12名)が参加予定です。</p> <p>* 日程や受講生募集の詳細については、前期期間中に教養教育事務室の掲示板で確認してください。 * 参加費(交通費・宿泊費・食費)は各自の負担となります。およその金額についても上記掲示板で確認してください。</p>		
キーワード	合宿、交流、主体的な学び		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。必要に応じて参考書を紹介します。		
成績評価の方法・基準等	事前学習会及び合宿中の授業への参画度(50%)、最終レポート(50%)。		
受講要件 (履修条件)	希望者が多数の場合、抽選により受講者を決定します。		

備考 (URL)	
学生へのメッセージ	他大学に新たな友人をつくりともに学ぶよい機会です。 私もみなさんと一緒に学びを深められたらと考えています。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569001101	科目番号	05690011
授業科目名	●全学乗船実習		
編集担当教員	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 久明		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	1年，2年，3年，4年		
担当教員Eメールアドレス	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産学部本館3F東階段突当り右前		
担当教員TEL	内線2809		
担当教員オフィスアワー	随時		
授業の概要及び位置づけ	練習船による航海実習、運用実習、漁業実習、海洋観測実習及びデッキワークなど		
授業到達目標	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、団体生活を行い、協調性・寛容性を養い船内生活を行える。また、各実習を行い、船の運航に慣れる。		
授業方法（学習指導法）	各実習の事前説明を行い資料・映像を通して行い、その後各実習を体験し慣れるとともに身につける。		
授業内容	航海実習、運用実習、漁業実習、観測実習及びデッキワークなど		
キーワード	海、練習船、漁業実習・航海実習など乗船実習、船上体験		
教科書・教材・参考書	事前説明会及び乗船中に配布された資料など		
成績評価の方法・基準等	レポート課題提出、乗船実習内容を理解して課題提出が出来れば合格		
受講要件（履修条件）	乗船実習前の事前説明会に出席すること。		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	陸上とは違う特殊環境下の海上に浮かぶ船に乗ることで、日常性を離れた生活を経験をし、日々何気なく過ごしている現在の自分の日常生活の環境が、いかに恵まれているか、素晴らしいものであるか、再認識できる機会にしてください。また、大自然の海、船の素晴らしさも再認識してください。		

[戻る](#)

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569061401	科目番号	05690614
授業科目名	●オランダの文化		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業方法（学習指導法）	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材（powerpoint）を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業内容	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることによって北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
	回	内容	
	1	オランダの紹介	
	2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス	
	3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展	
	4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教	
	5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生	
	6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリューゲルなど）	
7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流		

	8	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術（レンブラント・フェルメールなど）・世界貿易中心のオランダ
	9	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制
	10	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生
	11	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術（モンドリアンなど）
	12	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立
	13	オランダの宗教・祭り・伝統
	14	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ
	15	講義の総括
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材：プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569061501	科目番号	05690615
授業科目名	●オランダの言語		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	info@ryuumon.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	初級レベルのオランダ語入門講義です。 授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法（学習指導法）	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
	回	内容	
	1	自己紹介Ⅰ（現在形の作り方・動詞活用）	
	2	相手の事を尋ねるⅠ（一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文）	
	3	相手の事を尋ねるⅡ（人称代名詞・否定文）	
	4	自己紹介Ⅱ（形容詞・副詞）	
	5	第1回～第4回の復習	
6	家族の紹介、時計を読む（比較級と最上級）		

	7	一日の予定（名詞の単数・複数形・時刻と場所）
	8	一週間の予定（助動詞の使い方）
	9	約束を交わす（勧誘表現）
	10	第5回～第8回の復習
	11	レストランでの会話（過去時制）
	12	相手の事を尋ねるⅢ（現在完了形）
	13	道を探ねる（命令形）
	14	第9回～第11回の復習
	15	講義の総括 会話の発表
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材プリント配布 CD-ROM 100円
成績評価の方法・基準等		教材：プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。
受講要件（履修条件）		全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。
備考（URL）		
学生へのメッセージ		オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかり、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569062801	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一, 野上 建紀		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業内容	回	内容	
	1	長崎の歴史と長崎学	
	2	長崎の誕生	
	3	南蛮貿易と長崎	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	長崎の海底遺跡	
	6	長崎の陶磁器産業	
	7	長崎と陶磁器貿易	
	8	長崎とガレオン貿易	
	9	出島の誕生と機能	
	10	蘭学物語	
	11	長崎版画に見るエキゾチシズム	
	12	外国人居留地の形成	

	13	坂本龍馬の長崎訪問
	14	写真の伝来
	15	古写真に見る長崎の世界性
	16	
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学、原爆	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、『長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。 長崎に関するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569062802	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後(水：17：50－19：00)		
授業の概要及び位置づけ	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業内容	回	内容	
	1	地域学としての長崎学	
	2	長崎の誕生日:開港記念日論争をめぐって	
	3	南蛮船の来たころ：南蛮貿易と南蛮文化	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	唐人文化の流入	
	6	出島の誕生とその役割	
	7	蘭学の発展	
	8	出島の科学	
	9	長崎版画に見る長崎のエキゾチズム	
	10	長崎開港と外国人居留地の形成	
	11	坂本龍馬の長崎訪問	
	12	写真術の伝来	

	13 幕末の長崎と近代化：写された幕末の長崎
	14 明治初期の長崎：写された長崎の文明開化
	15 明治中期の長崎：NHK市川森一ドラマ「蝶々さん」について考える
	16 産業遺産に見る長崎の近代化
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、姫野順一著『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、『新長崎市史』（長崎市）
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。 長崎に関するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588000101	科目番号	05880001
授業科目名	●特別活動論		
編集担当教員	柳田 泰典		
授業担当教員名(科目責任者)	柳田 泰典		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	柳田 泰典		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	3年		
担当教員Eメールアドレス	yasunori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	213室（2階）		
担当教員TEL	095-819-2387		
担当教員オフィスアワー	水曜日9時から12時		
授業の概要及び位置づけ	教育実習を分析・交流し教育実践力の高度化をめざす。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①教育実習の課題をまとめることができる。 ②4つのユニットの学級指導メッセージの原理と課題について理解することができる。 ③学級指導の課題を明確にし再構成することができる。 		
授業方法（学習指導法）	<ol style="list-style-type: none"> ①それぞれの教育実習をまとめる（資料集『私の実習体験』の分析）。 ②4つのユニット：「ほめるー叱る」ユニット、45(50)分授業ユニット、トラブルユニット、学級生活課題・行事ユニットの分析とグループ討論。 ③教育実践の再構成の実施。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> ①特別活動とはⅠ（映画「チェスト」から考える） ②特別活動とはⅡ（学習指導要領から考える） ③特別活動と教育実践を構成する4つのユニット ④私の実習体験（記録） ⑤私の実習体験（分析） ⑥「ほめるー叱る」ユニットの検討1（あなたメッセージ） ⑦「ほめるー叱る」ユニットの検討2（わたしメッセージ） ⑧45(50)分授業ユニットの検討1（IRE構造） ⑨45(50)分授業ユニットの検討2（授業デザイン） ⑩トラブルユニットの検討1（ごめんね完了型） ⑪トラブルユニットの検討2（Win-Win型） ⑫学級生活課題・行事ユニットの検討1（掃除など） ⑬学級生活課題・行事ユニットの検討2（合唱コンクールなど） ⑭改善課題の明確化と再構成 ⑮再構成プログラムの発表 ⑯まとめ 		

キーワード	教育実習の再構成
教科書・教材・参考書	『私の実習体験 2014』等
成績評価の方法・基準等	①実習体験のまとめ 30% ②講義への参加状況 30% ③再構成プログラム 40%
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588000401	科目番号	05880004
授業科目名	●教育方法・技術論		
編集担当教員	藤井 佑介		
授業担当教員名(科目責任者)	藤井 佑介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤井 佑介		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	y-fujii@f-edu.u-fukui.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	教育方法における歴史的変遷と理論を基盤とし、授業の具体的分析と実践を行う。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○教育方法の歴史的展開を整理・理解し、現在の教育実践の位置づけを理解する。 ○授業の構成や分析視点に関する知見を深める。 ○グループでの討議を通じて、レポートをまとめる。 ○教育実践に関して明確な根拠を持ちながら議論することができる 		
授業方法（学習指導法）	夏期に3日間の集中講義として実施する。本講義ではグループ3～4人による取り組みを中心とする。グループは異学年、異学部による構成を基本とし、多様な学習者による思考の洗練を行う。		
授業内容	理論に関する講義を適宜行い、それに伴ってグループ活動やレポートの作成を行う。具体的な内容は、優れた教育実践記録の読み取りとグループ内報告、授業実践VTRの分析とグループ内共有、グループ内による模擬授業の実施である。模擬授業内容を構成する時間や指導案の記述に時間は講義内で確保する。授業に関して「読む（実践記録）」「観る（分析）」「書く（指導案）」「行う（実践）」といった4つの位相により構成する。		
キーワード	教育方法、教育実践、授業分析、実践記録		
教科書・教材・参考書	参考書：佐藤学「教育方法学」岩波書店 1996 日本教育方法学会「日本の授業研究 下巻 授業研究の方法と形態」学文社 2009		
成績評価の方法・基準等	出席・レポートによる採点、さらにグループでの活動の積極性によって評価を行う。		
受講要件（履修条件）			
備考（URL）			
学生へのメッセージ			



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588000701	科目番号	05880007
授業科目名	●生徒・進路指導論		
編集担当教員	江頭 明文		
授業担当教員名(科目責任者)	江頭 明文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江頭 明文		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	a-egaega@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部527号		
担当教員TEL	095-819-2089		
担当教員オフィスアワー	随時（要メール連絡）		
授業の概要及び位置づけ	<p>個々の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動が生徒指導である。このような生徒指導（進路指導）の理念や意義、課題を理解するとともに、児童生徒支援のための技法の習得や資質の向上をねらいとする。</p> <p>また、事例研究の中で、グループ討議やプレゼン等の学習活動を多く取り入れることを通して、思考力や表現力の育成を目指す。</p>		
授業到達目標	生徒指導や進路指導の理念や意義、児童生徒が抱える諸課題や支援の在り方等について理解を深め、実践的生徒指導力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	生徒・進路指導の理念や意義についての講義、具体事例を踏まえた協議及びプレゼン		
授業内容	生徒・進路指導の意義等と自らの学習・生活体験を踏まえ、児童生徒に関わる諸問題の検討・発表等を通して実践的生徒指導力を身につけさせるために、以下の手順で学習を進める。		
	回	内容	
	1	生徒指導の意義と原理	
	2	生徒指導と教育課程（目的、内容、方法等）	
	3	いじめ防止対策推進法と生徒指導	
	4	部活動の意義・在り方と体罰	
	5	児童生徒理解の方法と技術（教育相談等）	
	6	児童生徒理解の方法と技術（全体指導、個別指導）	
	7	生徒指導の実際（演習：事例研究）	
	8	生徒指導の実際（演習：事例研究）	
9	家庭・地域・関係機関との連携		

	生徒指導と法令
	10 進路指導の理念と意義 生徒指導と進路指導
	11 進路指導と教育課程
	12 キャリア教育の推進
	13 キャリア教育の推進
	14 進路実現に向けた指導の実際（演習：事例研究）
	15 進路実現に向けた指導の実際（演習：事例研究）
	16 試験
キーワード	実践的生徒指導力、児童生徒理解、キャリア教育
教科書・教材・参考書	生徒指導提要（文部科学省 290円）を生協等で購入しておくこと。
成績評価の方法・基準等	演習成果資料・レポート 30% 授業及び協議への参画態度 40% 試験 30%
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005001	科目番号	05880050
授業科目名	●私たちと法		
編集担当教員	江口 勇治		
授業担当教員名(科目責任者)	江口 勇治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江口 勇治		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	guchiyu@human.tsukuba.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	授業のねらいは、日常生活において求められる法・ルール・きまりの意義やその指導の在り方を考えることから、今求められるリーガル・リテラシーの基礎について、「法教育」の側面から実際的にとらえることである。なお授業者は法律学の専門家ではなく、小・中・高校での法教育を訴えてきた教育学の研究者でありその角度から「法」を考える。		
授業到達目標	法律学の素人であっても、法・ルール・きまりに向き合うことを理解し、人々とともに規範を共有することの意義と限界を考えられることをこの授業のもっとも基礎的な到達点とする。あわせて一層、法・司法などへの専門的な興味・関心が高まることもねらいたい。		
授業方法（学習指導法）	アメリカの小学校で作られたテキストを利用して、「正義・公正」「責任」「権威」「自由」「幸福」などの観念を、日常に生活の実態に移して実際的に考えさせる。授業では設問を用意し、それについて対話するという形式を随時取り入れた。また「法的な見方や考え方」の模擬授業も可能なら計画する。		
	集中講義のため、講義をおおよそ四つもパートにわけて、授業内容にメリハリをつける。具体的には、①では「法的な見方や考え方」に向き合うことを共有する講義を実施する。②では、「私たちと法」のテーマとして「正義」「責任」「権威」「自由」について、日常での設問からその実際をそれぞれに考えさせる。③では、そこで共に議論された内容をより深めるために、法的な見方や考え方としてとらえさせる。④では互いに確認されたことを「子供たちに教育する」という視点に立って模擬的な授業をつくりあげる。なおこれまで実施してきた法教育の取り組みや授業の実際についてビデオ等を視聴することも設定する。		
	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 「私たちと法」の科目の意義と「法教育」についての説明を行う。	
	2	第二回 法教育のこれまでの取り組みと法曹三者の法教育への関与等についての概略を示すとともに、新学習指導要領での法教育の位置づけを講義する。	
	3	第三回 アメリカのテキストを参考に「正義」「責任」を法や司法の側面から考えるこ	

授業内容		との意義を理解するとともに、その共有の仕方等について考える。	
	4	第四回 同様に「権威」『自由』のテーマをもとに話し合い、あわせて我が国の子供たちが学ぶべき「公正」「幸福」「正義」などについて学校教育の側面からとらえることの意義を講義する。	
	5	第五回 「正義」のもとで「私たちと法」の論点から、日常的にな事例を設定し、その問題への向き合い方や解決方法等を互いに話し合い、整理することを通じて「正義」や「公正」の日常的な価値を法とのかかわりからとらえる。	
	6	第六回 『責任』をとらえることの意味を同じように「日常性」から考える設問を設定し、それについての論議を通じて、法的な『責任』とその他の『責任』の異同について互いに話し合う。	
	7	第七回 「権威」『自由』について、政治的な見方、経済的な見方、法的な見方からそれぞれの社会的価値を考えるとともに、私たちの生活においてそれぞれの有効性を、個別具体的な事例をもとに話し合い、法的な見方の特徴を共有する。	
	8	第八回 以上の議論整理の中から重要と思われる具体的な紛争・対立的な構図をより実際にお互いに話し合い、問題の整理とその解決に向けた取り組みを行う。なおここではおもに学校での教育や教材を想定して、その題材を設定する。	
	9	第九回 第八回と同じ形式で、具体的な問題をもとに、法的な思考をとらえることの意義を私たちの生活との関わりから考える。なお公的なことと私的なことの違いについての理解を深める工夫を合わせて行う。	
	10	第十回 小・中・高校のそれぞれの学校段階を想定して、「私たちと法」ということで重要と思われる題材や教材をお互いにつくり模擬授業を実施し、その評価を話し合い、その修正を行う。	
	11	第十一回 第十回と同じような活動や作業を実施し、「法」を現代において観念し共有する意義と問題点、限界などを話し合う。	
	12	第十二回 これまでの授業を整理するとともに、法的な事柄を超えて向き合い、物事を進めようとする人々の活動や考え方にも着目して、「私たちと法」の関係を多面的に考えることの大切さを理解する。	
	13	第十三回 法教育の在り方を学校教育ばかりでなく、生涯学習社会の教育の在り方としても考える視点を持ち、日常に生きる人々にとっての法的な見方や考え方の意義や可能性について、教材という形で成果を構想する。	
	14	第十四回 「私たちと法」という観点の持つ意味を、地域的に考え、社会の安心等に資する学び方の方向性を提案する。あわせて国際的にも考える必要性についても話し合い、その論点を整理する。	
	15	第十五回 ある具体的な紛争的な問題を設定し、対話・対審的に議論し、審議することから生まれる法的な見方や考え方の価値を検討する。	
	16	第十六回 具体的な課題に対して、レポートを提出し、文書として論点を整理、保存することの意義を学ぶ。	
	キーワード	法的な見方や考え方 法教育 リーガル・リテラシー	
	教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜資料を印刷し、配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業へ参加・貢献度(30%)、講義での小レポートの評価(20%)、レポート(50%)をもとに、総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(URL)			
学生へのメッセージ			



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005101	科目番号	05880051
授業科目名	●日本の思想文化		
編集担当教員	佐久間 正		
授業担当教員名(科目責任者)	佐久間 正		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	佐久間 正		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	sakuma@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	多文化社会学部1号館		
担当教員TEL	095-819-2920		
担当教員オフィスアワー	授業終了後30分		
授業の概要及び位置づけ	授業は教養教育の人文的授業であり、次の三部に大別される。（1）言語、思想、文化の連関についての理論的考察。（2）列島の自然的・文化的条件。（3）日本の思想文化の概要。		
授業到達目標	日本の歴史に関する理解を踏まえ、日本の思想文化の内容と特質について基本的な知識を有し、簡単な説明ができる。多文化社会における思想文化の基本的在り方について理解している。		
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する資料に基づいて授業を進め、適宜討論の時間を設ける。また受講生は授業内容及び指定された文献を読み、意見を述べるのが義務づけられる。参考文献等は適宜紹介する。		
授業内容	回	内容	
	1	はじめに 言語、思想、文化	
	2	列島の自然と文化、中華帝国とその周辺	
	3	土着、外来、日本化	
	4	仏教（1） 伝来、古代仏教	
	5	仏教（2） 鎌倉文教	
	6	仏教（3） 室町、徳川期の仏教	
	7	儒教（1） 伝来。古代～戦国期	
	8	儒教（2） 徳川儒教	
	9	儒教（3） 徳川儒教（続き）	
	10	神道（1） 神道の形成と展開	

	11	神道（2） 徳川期、国学
	12	キリスト教 伝来・浸透・禁教 南蛮学、蘭学、洋学
	13	琉球王国の思想文化
	14	近代日本の思想文化
	15	おわりに 多文化社会の思想文化
	16	定期試験
キーワード	土着・外来・日本化、神道、仏教、儒教、キリスト教	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業内容の資料を配布する。参考文献等は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	期末試験70%、授業への参加30%	
受講要件（履修条件）	高校の日本史及び倫理の教養・知識を身に付けていることを前提とする。それらを選択しなかった者は、それらの教科書を読んでおくこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業で取り上げる文献（『古事記』から福沢諭吉『学問のすすめ』等）をぜひ手にとって読み進めてください。哲学思想の学びでは、知識を取得すること以上に、自ら深く思索することが大切です。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005201	科目番号	05880052
授業科目名	●ジェンダーと法		
編集担当教員	植木 とみ子		
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ	いまだ男女共同参画が実現していない現代日本社会にあって、ジェンダーバイアスとは何かを見る目を養い、バイアスにとらわれていることで、日本人がいかに精神的、経済的に貴重なものを逃しているかに気づいていただきます		
授業到達目標	すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的・大局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊すことができるような、自立した大人になるお手伝いをします		
授業方法（学習指導法）	基本的には講義ですが、みなさんに自分で考えていただくために演習形式も取り入れて、できるだけ多く質問を投げかけ、一緒に考えて行きたいと思っています。みなさんには積極的に参画していただきたいと思います		
	<p>「第一部 ジェンダーはどう形成されてきたか（1～5）」では、過去の男女のジェンダー役割とその変遷を振り返ります</p> <p>「第二部 男女共同参画社会形成への道（6～8）」では、国際婦人年をきっかけにした女子差別撤廃から男女共同参画までの世界と日本の歩みを見ます</p> <p>「第三部 いまだ残る問題点（9～14）」では、わが国においていまだ根深くある様々なジェンダーバイアスの実態を知り、そのことがいかに社会問題を引き起こしているかを検証します</p> <p>「第四部 真の男女共同参画社会の実現に向けて（15）」では、ジェンダーバイアスにとらわれない、しなやかな生き方ができるための方策を探ります</p> <p>あらかじめ決まったテキストはありません。毎回プリントを配布しますし、関連した文献を紹介いたします</p>		
	回	内容	
	1	歴史に見る男女の姿（古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義）	
	2	明治から昭和初期の女性（天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」）	

授業内容	3	戦後の解放（憲法、民法改正の中での女性の地位、女性の社会進出）
	4	高度成長期における男性と女性（マイホーム主義、男女の役割分担の拡大最生産）
	5	世界史での女性差別（ハムラビ法典から近代市民社会成立期まで）
	6	世界的な女性解放の潮流（国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景）
	7	世界の現状（北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち）
	8	日本の取組み（国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏、地域での取組み）
	9	ジェンダーと法制度（憲法における平等保障、皇室典範や民法にいまに残る男系主義）
	10	ジェンダーと政治（政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル）
	11	ジェンダーと雇用（女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ）
	12	ジェンダーと福祉・社会保障（女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの？）
	13	ジェンダーと家族（夫と妻の役割、いま子どもが育っていない！）
	14	ジェンダーと性（リプロダクティブ・ライツ、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント）
	15	新たな生き方の提示（高齢社会は資源の宝庫、一度の人生を悔いなく生きる）
	16	定期試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	プリント配布、そのつど参考文献を紹介する
成績評価の方法・基準等	授業での積極的発言、毎回の短い感想文、定期試験の成績を総合評価する	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005301	科目番号	05880053
授業科目名	●芸術と文化		
編集担当教員	堀内 伊吹		
授業担当教員名(科目責任者)	堀内 伊吹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	堀内 伊吹		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	主対象、1年~4年		
担当教員Eメールアドレス	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部音楽棟2階206（改修工事の場合は変更します）		
担当教員TEL	095\819-2343		
担当教員オフィスアワー	水曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることができる。		
授業方法（学習指導法）	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業内容	回	内容	
	1	この授業の進め方、ガイダンス	
	2	「長崎の文化活動について	
	3	「長崎の音楽文化活動の現状」	
	4	文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう①	
	5	「音楽文化活動としての音楽祭」	
	6	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして	
	7	「マスメディアと文化」ゲストスピーカー、市原隆靖先生を迎えて	
	8	「美術と音楽、そして芸術」	
	9	「長崎の歴史と文化」	
	10	「長崎の歴史と文化」ゲストスピーカー、大堀館長を迎えて	
	11	「音楽芸術に親しむ方法」	
	12	「クリスマスの音楽」	
13	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう		

	14 「長崎の音楽活動、その行方」
	15 「人生の友としての舞台芸術」
	16 (予備)
キーワード	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭
教科書・教材・参考書	その都度指示します
成績評価の方法・基準等	推薦する文化施設訪問から2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。
受講要件（履修条件）	心を静めて芸術鑑賞ができること
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005401	科目番号	05880054
授業科目名	●共生のグローバル人類学		
編集担当教員	増田 研		
授業担当教員名(科目責任者)	増田 研		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	増田 研		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境401 (増田研究室)		
担当教員TEL	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー	随時 (事前連絡が必要)		
授業の概要及び位置づけ	<p>グローバル化された世界における共生のあり方を、文化人類学という武器を使って探る。これがこの「共生のグローバル人類学」という講義の目的である。文化人類学は異文化ひいては文化的他者を理解する学問であり、なおかつ、人類文化の普遍性を明らかにする学問である。他方、私たちが生きる世界においては、共生の重要性を誰もが認めつつも、それと真っ向から対立する出来事が充ち満ちている。必要なことは「過去に学び、現在を理解し、未来を構想する」、そのための身のこなしを習得することであり、そのこと自体の重要性を理解することであろう。またグローバル化された世界を構想する力を養うことは、自らのポジションを見定めることでもある。</p>		
授業到達目標	<p>(1)現代世界が抱える問題について、歴史的背景を把握しながら理解し、説明できる。 (2)社会的事象に対する文化人類学アプローチの特色を理解し、説明できる。 (3)現在進行している「共生」への模索と、その解決の道筋を構想し、主張することが出来る。</p>		
授業方法 (学習指導法)	原則として講義科目であるが、場合によってワークショップ形式を取り入れることもある。(実際の授業運営は受講人数によって調整される。)		
	回	内容	
	1	現代社会の多様な問題と「共生」 (増田) ★現代社会の問題を意識し、「共生」へと関心を開くこと	
	2	世界はボーダーレスの球面である (増田) ★世界の「つながり」を認識し、自らが生きる「狭い世界」の脈絡とつなげる。	
	3	帝国主義と植民地、世界システム (増田) ★異文化交流の問題を、世界史的視野において理解する。	
	4	文化人類学のアプローチ (増田) ★文化人類学の出現から現在までのアプローチの変遷を理解する。	

授業内容	5	エスノグラフィーを書く：紛争と健康と教育（増田） ★増田によるエチオピアでのフィールドワーク実践例を通して、現代的課題に対する取り組みの事例を知る。	
	6	アフリカにおける紛争の研究：導入（波佐間・増田） ★アフリカにおける紛争の概要と、その理解のパラダイムを知る。	
	7	敵対と友好を揺れ動く民族間関係（波佐間・増田） ★北東ウガンダの牧畜民社会の紛争の事例から民族間関係の動態を理解する。	
	8	マスメディアがむける東アフリカの民族紛争へのまなざし（波佐間・増田） ★マスメディアが広めるアフリカへのステレオタイプを批判する。	
	9	東アフリカ牧畜社会での平和構築と外部介入（波佐間・増田） ★ケニア・カクマ難民キャンプの事例をもとに、平和構築のあり方を理解する。	
	10	社会開発（Development）とは何か？（増田） ★共生的関与のあり方のひとつである「社会開発」の概要と、その歴史的経緯を理解する。	
	11	第二次世界大戦中、戦後の人類学の歴史的背景（佐藤・増田） ★人類学の発展の背景の具体例および、戦中の人類学の目的と戦後のそれに対する批判を理解する。	
	12	世界銀行の中での人類学、人類学者（佐藤・増田） ★世界銀行の開発政策の変遷と中での人類学者の役割を理解し、世界銀行の人類学者らが提唱する国際開発のキーワードとその概念を説明できるようにする。	
	13	開発と人類学：事例紹介(1)（佐藤・増田） ★人類学的アプローチを開発プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。	
	14	開発と人類学：事例紹介(2)およびまとめ（佐藤・増田） ★人類学的アプローチを保健プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。	
	15	全体の総括（増田） ★講義全体の総括を行う。	
	16		
	キーワード	文化人類学、多文化共生、紛争、開発、異文化理解	
	教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しないが、以下のものを参考書として挙げておく。（その他の推薦資料については講義中に適宜紹介する。） 奥野克巳・花淵馨也（編）『文化人類学のレッスン』（学陽書房）、2005年 佐藤 寛、藤掛 洋子編著『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ—』明石書店 2011年	
	成績評価の方法・基準等	毎回のレスポンスペーパー（40%）および試験（60%）によって評価する。	
	受講要件（履修条件）	受講生は以下の点を努力して欲しい。 (1)可能な限り全ての回に出席すること（すべての講義が一続きになるようにシラバスを設計しており、欠席すると理解が追いつかないかもしれない。） (2)社会情勢とりわけ世界の出来事をよく知っていることが望ましい。日常生活において新聞を読むことを習慣とすること（インターネット上の「ネット記事」ではダメである。）	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	日本と世界各地とをつなぐ回路を認識するための科目です。社会情勢とりわけ世界の現在進行中の出来事を、新聞を情報源としてつねにトレースしフォローしておくことが望ましいと思われます。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005501	科目番号	05880055
授業科目名	●社会学		
編集担当教員	南 誠		
授業担当教員名(科目責任者)	南 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	南 誠		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合研究棟303		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	事前にメール連絡		
授業の概要及び位置づけ			
授業到達目標	社会学の考え方と方法の習得をととして、現代社会を理解・研究・説明するための力を身につけることができる。		
授業方法（学習指導法）	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	社会学の確立	
	3	社会学の発想	
	4	親密空間と公共空間	
	5	自己と相互行為	
	6	家族とライフコース	
	7	地域社会と対人関係	
	8	組織と職業	
	9	社会的包摂と排除	
	10	グローバルとナショナル	
	11	エスニシティと境界	
	12	歴史と記憶	
	13	映像で社会学1	
14	映像で社会学2		

	15	映像で社会学3 グループ議論
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業および討論への参加度(20%)	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588005601	科目番号	05880056
授業科目名	●日本の言語と文化		
編集担当教員	池田 幸恵		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 幸恵		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 幸恵		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ	さまざまな時代の言語資料を取り上げ、そこに見られる日本語の諸問題を考察することを通して、日本語・日本文化に対する理解を深める。		
授業到達目標	日本語・日本文化の特徴について説明することができる。 文学作品をさまざまな視点から読み、それを自分の言葉で伝えることができる。 日本語・日本文化の歴史的な変遷について理解し、それを現在の身近な問題と結びつけて考えることができる。		
授業方法（学習指導法）	毎回、次回の授業に関する課題を出し、講義中に解説を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	日本の文字（1）	
	3	日本の文字（2）	
	4	日本の文字（3）	
	5	奈良時代の言語資料（1）	
	6	奈良時代の言語資料（2）	
	7	平安時代の言語資料（1）	
	8	平安時代の言語資料（2）	
	9	平安時代の言語資料（3）	
	10	院政・鎌倉時代の言語資料（1）	
	11	院政・鎌倉時代の言語資料（2）	
	12	室町時代の言語資料（1）	

	13	室町時代の言語資料 (2)
	14	江戸時代の言語資料 (1)
	15	江戸時代の言語資料 (2)
	16	テスト
キーワード	日本語 日本文学 漢字	
教科書・教材・参考書	プリントを配布する。	
成績評価の方法・基準等	毎回の課題に対する準備内容50%、定期試験50%	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20140588005701	科目番号	05880057
授業科目名	●上級外国語(フランス語)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)	全学		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。 自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
授業方法 (学習指導法)	教科書を使用しながらフランス語でコミュニケーションをとります。 3人程度のグループに分かれて、Ipadを使用し、シナリオを作り、それをビデオにとります。 他にも、皆さんの希望を聞きながら授業をみんなで作り上げます。		
	授業内容 (概要)		
	回	内容	
	1	Ipadを使って、発音を調べよう。	
	2	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。	
	3	「～していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた	
		「未来形」を学ぶ	

授業内容	4	1) 天気予報を言ってみる 2) テツオの1年の終り 3) ペアレッスン	
	5	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう	
	6	「パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう」	
	7	発表	
	8	友達を映画にさそう会話を考えよう。	
	9	グループワーク (1) シナリオを作ってみる	
	10	グループワーク (2) Ipad でビデオを撮影しよう	
	11	発表	
	12	友達とレストランに行く会話を考えよう。	
	13	グループワーク (1) シナリオを作ってみる	
	14	グループワーク (2) シナリオを作ってみる	
	15	グループワーク (3) Ipad でビデオで撮影しよう	
	16	発表	
	キーワード	上級フランス語	
	教科書・教材・参考書	コピーを渡します。	
	成績評価の方法・基準等	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。	
受講要件 (履修条件)			
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。 。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi@nagasaki-u.ac.jp に受講可能な曜日と時間をメールしてください。		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20140588005801	科目番号	05880058
授業科目名	●上級外国語(中国語)		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部 1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
授業方法 (学習指導法)	各課はテーマを設定し、その会話の場面に応じた語彙・文法表現などを導入した上で、ペアを組ませて会話練習を行い、現在の中国で実際に使われている口語の生き生きとした表現を学ぶ。コミュニケーションの能力をバランスよく習得し、「聴く、話す」能力が向上するように努める。		
授業内容	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。毎回の授業ではテキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第1課 自己紹介	
	2	第2課 電話をかける	
	3	第3課 道を尋ねる	
	4	第4課 買い物	
	5	第5課 銀行で	
	6	第6課 郵便局で	
	7	第1課～第6課のまとめ	
8	第7課 病院で		

	9	第8課 食事
	10	第9課 宿泊
	11	第10課 交通
	12	第11課 旅行
	13	第12課 アルバイト
	14	第7課～第12課のまとめ
	15	総合復習
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	プリント配布	
成績評価の方法・基準等	期末テスト（60%）、口頭発表・課題（30%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20140588005901	科目番号	05880059
授業科目名	●上級外国語(韓国語)		
編集担当教員	劉 卿美		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 卿美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 卿美		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	3年, 4年, 5年, 6年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生 (クラス等)	E, P, F, T		
担当教員Eメールアドレス	you-kiss@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教養B棟1階106号室		
担当教員TEL	095-819-2081 (直通)		
担当教員オフィスアワー	授業時間以外は、基本的に対応可。時間割は教員研究室の前に掲示しています。		
授業の概要及び位置づけ	韓国語ⅠとⅡで身につけたスピーキング能力、韓国語ⅢとⅣで身につけたリーディング、リスニング能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標	①必要な資料を日韓両言語で集め、読解することができる。②必要なデータを日韓両言語で収集し、分析することができる。③研究結果を相手に分かりやすく発信することができる。		
授業方法 (学習指導法)	2泊3日の韓国でのグループ・リサーチが中心となります。それに向けて事前にグループで準備をし、事後はプレゼンを行います。		
授業内容	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション	
	2	4月16日 グループ分け、アイスブレイキング、調査地の決定、課題：調査地について調べる	
	3	4月23日 各グループの調査地の概要まとめ及びプレゼンテーション。各グループでリサーチ・トピックを考える。調査地の宿泊施設を調べて宿の予約	
	4	4月30日 各グループでリサーチ・トピックをまとめプレゼンテーション。各グループでアンケート・クエスチョンを作成 課題：韓国語でアンケート・クエスチョンを作成	
	5	5月7日 各グループでアンケート・クエスチョンをまとめプレゼンテーション 課題：韓国語でアンケート・クエスチョンを作成	
	6	2泊3日 (5月16～18日予定) 現地リサーチ	
	7	2泊3日 (5月16～18日予定) 現地リサーチ	
	8	2泊3日 (5月16～18日予定) 現地リサーチ	
	9	2泊3日 (5月16～18日予定) 現地リサーチ	
10	2泊3日 (5月16～18日予定) 現地リサーチ		

	11	2泊3日（5月16～18日予定）現地リサーチ
	12	2泊3日（5月16～18日予定）現地リサーチ
	13	5月21日 実習の振り返り討論 プレゼンテーション準備
	14	5月28日 プレゼンテーション
	15	6月4日 プレゼンテーション
	16	定期試験 日にちは後日発表。出席が3分の2に達しない場合は、定期試験の受験資格が与えられません。成績評価は、欠席。
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	事前のグループ活動 30% 現地リサーチ 30% 事後のプレゼン 30% 定期試験 10%	
受講要件（履修条件）	本科目は原則、韓国語Ⅰ～Ⅳを履修した人を対象とします。また、現地リサーチを含め、全回出席しなければなりません。入室の際は、ICカードリーダーで打刻するように。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください（必要書類は教養教育事務室で確認するように。教員にメールや電話で連絡する 必要はない）。授業中に使用した資料はすべて紙媒体でファイリングし、大学卒業時まで保管してください。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現地リサーチ費用は個人負担となります。廉価に抑えるため、最大限努力します。長崎⇄ソウル直行便利用予定。受講を検討している人はまず、パスポートを作ってください。また、受講希望者がグループリサーチに必要な数に達しない場合は、開講をしないことがあります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588006001	科目番号	05880060
授業科目名	●東アジアの国際関係		
編集担当教員	森川 裕二		
授業担当教員名(科目責任者)	森川 裕二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	森川 裕二		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	morikay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	旧留学生センター内		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜日13:30～15:00		
授業の概要及び位置づけ	日本の外交は、「東アジア」とどのような関わりをもってきたのか。これからの世界とアジア、日本を考えるうえで必要な基礎知識を学びます。日中関係や日韓 関係など「東アジア」の平和について、目先の情報に流されずに考える力を養います。		
授業到達目標	日本とアジアの結びつきを歴史的に説明できるようにする。現在の東アジアの協力関係だけでなく、この地域で発生している領土問題や歴史認識問題について正確に理解するための、政治的な背景を知識として身に着ける。		
授業方法（学習指導法）	基本的には講義形式の授業を進めるが、受講者のコメント討論の時間を用意する。		
授業内容	東アジアと日本の歩みを歴史的に理解し、東アジアの現在の課題と将来について政治学な視点からとらえる		
	回	内容	
	1	授業の進め方 イントロダクション：「アジア」、「東アジア」とはなにか	
	2	西洋の衝撃と東アジアの伝統的秩序	
	3	日本外交と東アジア伝統的秩序の解体	
	4	列強による覇権争奪	
	5	第一次世界大戦後の平和秩序	
	6	第二次大戦とアジア主義	
	7	アジアの冷戦	
	8	第二次戦後後の国際秩序と東アジア	
	9	冷戦体制崩壊後の東アジア	
10	日米同盟の再定義と東アジア		

	11 東アジアの奇跡と挫折
	12 ASEANと東アジア地域主義 ①
	13 ASEANと東アジア地域主義 ②
	14 大国・中国と戦後秩序のゆらぎ
	15 まとめ 東アジアの将来
	16 定期試験
キーワード	国際政治、東アジア、冷戦、戦後秩序、東アジア共同体
教科書・教材・参考書	教科書：日中韓3国共通歴史教材委員会（編集）『新しい東アジアの近現代史[上] 国際関係の変動で読む 未来をひらく歴史』日本評論社、2012年。 参考書：下斗米 伸夫（著）『アジア冷戦史』中央公論新社、2004年。ハウ C・S（著）、白石隆（編）『中国は東アジアをどう変えるか』中央公論新社、2012年。細谷 雄一（著）『国際秩序 - 18世紀ヨーロッパから21世紀アジアへ』中央公論新社、2012年。毛里和子（編集代表）『東アジア共同体の構築』全4巻、岩波書店、2006～2007年。
成績評価の方法・基準等	試験50%、小テスト30%、授業への積極的な参加・貢献度20%から総合的に判断し成績評価する。
受講要件（履修条件）	TV、新聞のアジアについての国際報道は、チェックしておくこと。授業のほか、小テストでも扱います。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588006101	科目番号	05880061
授業科目名	●家族社会学		
編集担当教員	賽漢卓娜		
授業担当教員名(科目責任者)	賽漢卓娜		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	賽漢卓娜		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日4限目		
授業の概要及び位置づけ	社会の基礎単位であり、最も身近な社会集団である家族の基本的な枠組みを学ぶ。その上で、家族の形態や家族規範は社会変容によっていかに変化してきた／変化しているのかに着目する。		
授業到達目標	①社会学的な素養が身に付き、「常識」から脱出する見方を習得すること。②比較文化のおよび歴史的な文脈において、家族に関する多様な理解ができることが目的である。		
授業方法（学習指導法）	レジュメやプリントを配布する。講義形式を基本としながら、人数に応じてグループワークを採用する。予習と復習を重視する。		
授業内容	第1回～4回まで、家族の基本的な概念と枠組みを紹介する。第5回～6回、歴史的な文脈における家族の変容を紹介する。第7回～12回、ライフサイクルにおける課題及び危機を紹介する。第13回、多様化する現代の家族のあり方を紹介する。グループディスカッションを経て総括へ導く。		
	回	内容	
	1	家族：さまざまなかたちと文化	
	2	家族の概念と定義	
	3	家族の類型	
	4	家族の機能	
	5	近代家族のあゆみ	
	6	親族と地域生活	
	7	ライフサイクルと家族の危機	
	8	配偶者選択と結婚	
9	家族内の内部構造：役割構造と勢力構造		

	10	離婚
	11	子どもの社会化と親子関係
	12	家族と高齢者
	13	多様化する家族
	14	グループ討論
	15	総括
	16	テスト
キーワード		
教科書・教材・参考書	随時プリントを配布。適宜参考書を紹介。	
成績評価の方法・基準等	評価方法：定期試験70%、ミニレポート、授業への参加度30%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588006201	科目番号	05880062
授業科目名	●宗教学		
編集担当教員	滝澤 克彦		
授業担当教員名(科目責任者)	滝澤 克彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	滝澤 克彦		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	takizawakatsuhiko@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	<p>「進化」という発想が世界、とりわけ宗教と社会科学に与えた影響を概観することによって、近現代社会を成り立たせている諸条件の一端について論じる。「宗教」と「進化」というキーワードを通じて近代諸科学の萌芽についても触れるため、宗教学のみならず文理を越えた科学史に関連する授業となる。</p>		
授業到達目標	<p>(1) 進化論の登場とその時代的背景、それが宗教や学問に与えたインパクトについて理解し、説明できるようになる。 (2) 19世紀以降の社会科学における進化論の影響について、その概略を説明できるようになる。 (3) 宗教と進化論の歴史的関連性に対する理解を踏まえて現代世界の社会的諸事象について分析できるようになる。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>各回で以下の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、毎回の授業の終了時に、講義内容に関する簡単なアンケートを実施し、場合によっては次回講義の冒頭で補足を行う。その他にも状況に応じて、適宜討論や質疑の時間を設ける。</p>		
	<p>進化論が近現代社会に与えた影響は多岐にわたるが、宗教に与えた衝撃はとりわけ甚大なものであった。進化論は、かつて神の領域にあった世界に対する知の全てを、完全に人間のものにしようとする近代的な試みの象徴となったからである。 本講義では、まず進化論の登場とその時代的背景、さらにそれが社会や近代諸科学に与えたインパクトについて考察する。例えば、進化思想は「社会進化論」という形で社会科学にも大きな影響を及ぼし、言語学や社会学などに革新をもたらし、宗教学や文化人類学といった新たな学問領域を生み出した。授業では、その思想的構造をドイツ観念論や社会主義思想との関係などに触れながら整理する。 最後に、現代の進化論争と宗教的原理主義の関係など、「進化」をめぐる現代的問題に触れながら、現代社会における「宗教と進化をめぐる諸問題」の位置と重要性を指摘する。</p>		
	回	内容	
	1	はじめに—宗教と進化をめぐる諸問題	

授業内容	2	人間観の歴史の変遷
	3	「生命」をめぐる科学の誕生
	4	ダーウィン進化論の登場
	5	ダーウィンを取り巻く宗教的状况
	6	ダーウィンの人間論
	7	「進化」の人間社会への適用
	8	社会学の誕生と進化論
	9	宗教学と進化論
	10	言語学と系統樹
	11	アメリカにおける進化論の受容
	12	20世紀における社会進化論の展開
	13	原理主義の登場と創造論・ID論
	14	社会生物学とミーム論
	15	まとめ—現代社会における宗教と進化
	16	定期試験ではなくレポートでの評価のためなし
	キーワード	宗教、進化論
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加（授業ごとのアンケート提出など）50%、学期末レポート50%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	3.0	
時間割コード	20140588006401	科目番号	05880064	
授業科目名	●長崎短期フィールド研修			
編集担当教員	松山 章子			
授業担当教員名(科目責任者)	松山 章子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松山 章子, 松岡 裕子			
科目分類	自由選択科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	実習科目	
教室				
対象学生（クラス等）	1年, 2年, 3年, 4年			
担当教員Eメールアドレス	(松山) akikomat、(松岡) yukomの後に@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	国際健康開発研究科（医学部基礎棟4階）			
担当教員TEL	(松山) 095-819-7893、(松岡) 095-819-7794			
担当教員オフィスアワー	平日10時～17時 事前にアポイントメントをとること。			
授業の概要及び位置づけ	本研修は大学の世界展開力強化事業「アジア平和と人間の安全保障学生交流プログラム」の一環として実施される。使用言語は英語である。			
授業到達目標	アジア平和と人間の安全保障に関し、①長崎および周辺地域の歴史的事実、現代的課題、平和への取り組み、健康問題と対策活動を学び、今後の修学に生かす。②英語でのディスカッションやプレゼンテーションを通じて、英語による発信能力の獲得、向上を目指す。			
授業方法（学習指導法）	本校の学生及びアジア6大学12名の留学生による合同プログラムでは、座学、フィールド視察、ディスカッション、学生によるプレゼンテーションを行う。			
	なお、講義内容、順番、講師は変更になる可能性がある。			
	回	内容	回	内容
	1	シンポジウム「グローバルヘルスと人間の安全保障」（国内外有識者）	17	講義 水俣病と環境問題（花田昌宣）
	2	シンポジウム「グローバルヘルスと人間の安全保障」（国内外有識者）	18	講義 患者会訪問（花田昌宣）
	3	シンポジウム「グローバルヘルスと人間の安全保障」（国内外有識者）	19	フィールドトリップ 雲仙・島原視察（松山章子、松岡裕子）
	4	フィールドトリップ 平和公園、長崎原爆資料館（ピースボランティア、松岡裕子）	20	フィールドトリップ 湯治場の視察（松山章子、松岡裕子）
	5	フィールドトリップ 被爆体験講話（被爆体験者、松岡裕子）	21	講義 人間の安全保障と人権（国内有識者）
	6	講義 アジアの非核化（松山章子、松岡裕子）	22	講義 人間の安全保障と環境（国内有識者）

授業内容	7	フィールドトリップ 長崎市内散策 出島、長崎歴史文化博物館など（松岡裕子）	23	プレゼンテーション準備、ディスカッション、個別相談（松山章子、松岡裕子）
	8	フィールドトリップ 長崎市内散策 出島、長崎歴史文化博物館など（松岡裕子）	24	プレゼンテーション（松山章子、松岡裕子）
	9	講義 日本の保健医療行政と長崎県の取り組み（藤田利枝）	25	
	10	講義 長崎を事例にした母子保健の歩み（大石和代）	26	
	11	グループディスカッション（松山章子、松岡裕子）	27	
	12	講義 放射線被ばくと健康対策（高村昇）	28	
	13	講義 日本の保健医療政策策定の現場から（国内有識者）	29	
	14	フィールドトリップ 水俣市立水俣病資料館、水俣病情報センター（環不知火プランニング）	30	
	15	フィールドトリップ 百間排水溝遺構、親水護岸等（環不知火プランニング）	31	
	16	講義 水俣病総論（花田昌宣）		
キーワード	人間の安全保障			
教科書・教材・参考書	別途指定			
成績評価の方法・基準等	研修への参加状況、第24回プレゼンテーション、最終報告書（日本語、英語どちらでもよい）			
受講要件（履修条件）	本科目は英語により行われる。参加希望者は、松岡まで事前に連絡すること。また参加者には事前に補講（1コマ）行う。			
備考（URL）	http://peace-hs.osipp.osaka-u.ac.jp/japanese/			
学生へのメッセージ	研修参加者には修了証が付与される。			



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588010001	科目番号	05880100
授業科目名	●平成長崎塾		
編集担当教員	高橋 正克		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 正克		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 正克, 姫野 順一, 布袋 厚		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	takahasi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館 2F（高橋研究室）		
担当教員TEL	095-819-2090（Ext 2090）		
担当教員オフィスアワー	水曜日12：00～13：00、この時間以外は、事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ	<p>箆を負うて長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？文学は？大地の生い立ちは？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街や大地を多面的な切り口から知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い（愛校精神）、将来、地域活性や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、文学の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>基本的に講義形式で行うが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。</p>		
	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、生い立ちなどについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。</p>		
	回	内容	
	1	<p>科目の趣旨説明（高橋） 1) フォン・シーボルトと鳴滝塾（相川）</p>	
	2	<p>2) 海軍伝習と日本の近代化（相川）</p>	
	3	<p>3) ボンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習（相川）</p>	

授業内容	4	1) シーボルトの商業学校設立案と江戸時代の長崎（姫野）	
	5	2) 長崎における近代的学校の成立（姫野）	
	6	3) 長崎高等商業学校の設立と武藤長蔵（姫野）	
	7	4) 原爆被災と長崎大学（姫野）	
	8	1) 長崎の大地の生い立ち（布袋）	
	9	2) 江戸時代の長崎の町の復元（布袋）	
	10	3) 水族館のビオトープづくりとよみがえる里山（布袋）	
	11	4) 長崎の町から変遷の痕跡を読み解く—幕末から戦後まで—（布袋）	
	12	1) 長崎大学の現状，長崎ことはじめ（高橋）	
	13	2) 長崎の歴史を築いた人々（高橋）	
	14	3) 長崎の歴史散策紹介（高橋）	
	15	4) 長崎検定・長崎通への誘い，まとめ（高橋）	
	16		
	キーワード	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 文学 外交 大地の生い立ち 地質 復元	
	教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜，ハンドアウトを配布します。	
	成績評価の方法・基準等	毎回の積極的な授業への出席を前提に，提出するレポートで評価します（100%）。	
受講要件（履修条件）	原則として全回出席し，レポートを提出することを単位認定の要件とします。		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	長崎大学や長崎の歴史，文化など多面的に知り，長崎大学生であることを誇りに思い，長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることで。長崎検定などに合格することも，学習意欲を身に付けることにつながります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588010101	科目番号	05880101
授業科目名	●男女共同参画のすすめ		
編集担当教員	伊東 昌子		
授業担当教員名(科目責任者)	伊東 昌子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	伊東 昌子		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL	095-819-2179		
担当教員オフィスアワー	15～17時		
授業の概要及び位置づけ	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立つ。		
授業到達目標	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・多様性容認の意味を理解し、自分の将来のキャリアに関連付けることができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	講義とグループワーク		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介と自分を知るためのワーク ーあなたはコントローラー、プロモーター、サポーター？ー	
	2	ワークライフバランスとダイバーシティ	
	3	男女共同参画の現状と未来	
	4	これまでの振り返りとグループワーク（知ってためになる進め方）	
	5	乳幼児の心身の発育・発達	
	6	思春期の心身の発育・発達	
	7	育児は育自、介護は介互	
	8	なぜ、日本女性の社会進出が遅れたのか？	
	9	環境や制度が完璧なら、社会で女性は活躍できるか？	
	10	男性の育児休暇取得について考える	
	11	ライフロールについて	
12	キャリアアンカーについて		

	13	キャリアアンカー物語
	14	なりたい自分を見つける
	15	幸せを感じる生き方、働き方について（自由討論）
	16	試験
キーワード	男女共同参画、ワークライフバランス、多様性、キャリア形成、自分探し	
教科書・教材・参考書	特になし	
成績評価の方法・基準等	レポート（50%）、テスト（50%）	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）	http://nagasaki-ajisai.jp 、 http://www.gender.go.jp	
学生へのメッセージ	男女共同参画という難しいタイトルですが、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方を容認することの重要性を一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思います。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588010201	科目番号	05880102
授業科目名	●疑似科学とのつき合い方		
編集担当教員	武藤 浩二		
授業担当教員名(科目責任者)	武藤 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	武藤 浩二		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	cosy @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 美術技術教室 206		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業到達目標	科学的なものの見方を獲得する。疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	黒板への番書やスライド、ビデオを用いた講義と、担当教員と受講生による討論を行う。 講義資料や課題用紙はLACSや教員のWEBページを通じて配布する。		
授業内容	<p>講義内容は多岐にわたるので、以下のように各教員がテーマに基づいて講義を行う。</p> <p>回 担当者及びテーマ</p> <p>01 全教員「開講のあいさつ：現代教育に欠けたもの」</p> <p>02 武藤浩二「マイナスイオンと健康」</p> <p>03 武藤浩二「微生物と放射線の疑似科学」</p> <p>04 武藤浩二「代替医療」</p> <p>05 福山隆雄「水からの伝言」</p> <p>06 福山隆雄「血液型と性格」</p> <p>07 福山隆雄「デマの拡がり」と都市伝説」</p> <p>08 全体討論会#1：第1～7回の講義について全教員・学生で討論</p> <p>09 小西祐馬「社会調査のリテラシー：統計データとの正しい接し方」</p> <p>10 小西祐馬「乳幼児の教育について：早期教育の問題点」</p> <p>11 安部俊二「蔓延する学位商法（ディプロマ・ミル）」</p> <p>12 安部俊二「裁判と〈科学〉：血液型とDNA鑑定」</p> <p>13 山岸賢一郎「『昔はよかった』を考える」</p> <p>14 山岸賢一郎「信じること／疑うことを考える」</p> <p>15 全体討論会#2：講義全体について全教員・学生で討論</p> <p>※各教員の担当回及びテーマは変更する場合がある</p>		

キーワード	科学, 疑似科学, 前科学, 宗教の歴史, 認識論, 感性, 法医学, 大学偽装
教科書・教材・参考書	資料：長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた：教師を目指す皆さんへ』 http://hdl.handle.net/10069/23093 参考書：大村政男『新訂 血液型と性格』（福村出版），左巻健男『水は何にも知らないよ』（ディスカバートゥエンティワン），安斉育郎『科学と非科学との間』（かもがわ出版），伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』（名古屋大学出版会），池内了『疑似科学入門』（岩波新書），菊池誠・松永和紀・伊勢田哲治・平川秀幸『もうだまされないための「科学」講義』（光文社新書），菊池聡・谷口高士・宮元博章編『不思議現象 なぜ信じるのか』（北大路書房），庄司和晃『科学的思考とは何か』『科学ばかり主義の克服：未来の教育学のための人間研究』『人はなぜオカルトに魅かれるのか』（明治図書），南郷継正『弁証法・認識論への道』（三一書房），等
成績評価の方法・基準等	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から，最終課題レポート（50%），討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績（50%）で総合的に評価する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	講義情報については下記URLを参照のこと： http://tech.edu.nagasaki-u.ac.jp/muto/lectures_j.html



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015001	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生 (クラス等)	一年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa-@octp-net.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業到達目標	物理Ⅰの力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業方法 (学習指導法)	講義及び演習		
授業内容	回	内容	
	1	等速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の速さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
	11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ	
	12	重力による運動 水平投射 斜方投射	
	13	運動エネルギーと位置エネルギー	

	14	仕事 仕事の原理 仕事率
	15	力学的エネルギー保存の法則
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		物理基礎研究ノート2014 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社
成績評価の方法・基準等		定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		質問については、メールだけでなく、口頭でも受け付けます。水曜日の15時には非常勤講師控室にいますので、積極的に質問してください。



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015002	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生 (クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa@octp-net.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業到達目標	物理Ⅰの力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業方法 (学習指導法)	講義及び演習		
授業内容	回	内容	
	1	等速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の速さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ		

	12	重力による運動 水平投射 斜方投射
	13	運動エネルギーと位置エネルギー
	14	仕事 仕事の原理 仕事率
	15	力学的エネルギー保存の法則
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		物理基礎研究ノート 2014 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社
成績評価の方法・基準等		定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		質問については、メールだけでなく、口頭でも受け付けます。水曜日の15時には非常勤講師え室にいますので、積極的に質問してください。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015003	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	1年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa -@octp-net.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業到達目標	物理の力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	講義及び演習		
授業内容	回	内容	
	1	等速度速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の早さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
	11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ	
	12	重力による運動 水平投射 斜方投射	
	13	運動エネルギーと位置エネルギー	

	14 仕事 仕事の原理 仕事率
	15 力学的エネルギー保存の法則
	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	物理基礎研究ノート 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行所 株式会社博洋社
成績評価の方法・基準等	定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間 1 5 回実施) 授業に取り組む態度 10%
受講要件 (履修条件)	
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	質問については、メールだけでなく、口頭でも受け付けます。水曜日の 1 5 時には非常勤講師控室にいますので、積極的に質問してください。



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015101	科目番号	05880151
授業科目名	●基礎化学		
編集担当教員	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者)	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	筒井 保之		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生 (クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて水曜日15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ	高等学校で「化学Ⅰ」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学Ⅰ」の範囲の基礎的・基本的内容を学習します。		
授業到達目標	高等学校「化学Ⅰ」で履修する範囲の基礎的・基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法)	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的・基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的・基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めることが必要です。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 1 物質の構成	
	2	2 物質の構成粒子 原子とその構造、イオン、周期表	
	3	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子	
	4	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属	
	5	4 物質質量と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量	
		(2)物質質量	

授業内容	6	(3)化学反応式と物質量
	7	(4)演習
	8	5 酸と塩基の反応 (1)酸・塩基
	9	(2)水の電離と水溶液のpH
	10	(3)中和反応 (4)塩
	11	(5)演習 6 酸化還元反応 (1)酸化と還元
	12	(2)酸化剤と還元剤
	13	(3)金属の酸化還元反応
	14	(4)酸化還元反応の利用
	15	(5)補充と演習
	16	定期試験
	キーワード	基礎化学 化学 I
教科書・教材・参考書	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。	
受講要件 (履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないましょう。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015102	科目番号	05880151
授業科目名	●基礎化学		
編集担当教員	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者)	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	筒井 保之		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生 (クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて水曜日15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ	高等学校で「化学Ⅰ」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学Ⅰ」の範囲の基礎的・基本的内容を学習します。		
授業到達目標	高等学校「化学Ⅰ」で履修する範囲の基礎的・基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法)	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的・基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的・基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めることが必要です。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 1 物質の構成	
	2	2 物質の構成粒子 原子とその構造、イオン、周期表	
	3	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子	
	4	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属	
	5	4 物質質量と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量	
		(2)物質質量	

授業内容	6	(3)化学反応式と物質量
	7	(4)演習
	8	5 酸と塩基の反応 (1)酸・塩基
	9	(2)水の電離と水溶液のpH
	10	(3)中和反応 (4)塩
	11	(5)演習 6 酸化還元反応 (1)酸化と還元
	12	(2)酸化剤と還元剤
	13	(3)金属の酸化還元反応
	14	(4)酸化還元反応の利用
	15	(5)補充と演習
	16	定期試験
	キーワード	基礎化学 化学 I
教科書・教材・参考書	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。	
受講要件 (履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的に演習をおこないましょう。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015201	科目番号	05880152
授業科目名	●基礎生物		
編集担当教員	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者)	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平倉 充		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	hirakura@nibc.nibc.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	携帯電話 090-1924-6222		
担当教員オフィスアワー	質問はEメールで常時受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ	高校教科書「生物Ⅰ」（第一学習社）を使って、細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の全般を学習します。理系関係に進む者として、一般常識として身につけてほしい生物分野の知識や思考方法などを学びます。		
授業到達目標	教科書の平易な内容を常識的な知識として学習し、新聞や雑誌・テレビ等で取り上げられる生物分野の事項を正しく理解・判断し、考えが持てるようになる。教科書にそった簡単な内容の質問に、80%以上は解答できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	教科書の内容を、單元ごとに15時間に分けます。各時間、プリントを準備しますので、そのプリントに書き込みながら、授業内容を理解してください。各時間の最後に10分間の小テストを行い確認します。15回分を合計して、50点に換算し、それを平常点とします。定期考査として50点分のテストを実施し、合わせて100点で評価します。		
	授業内容：教科書の内容を15時間にわけ、單元ごとにまとめたテーマで学習していきます。教科書は高等学校「改訂生物Ⅰ」（第一学習社）を使います。各時間の終わりの10分間に、その前の時間の講義内容を確認する小テストを実施します。この小テストの成績の合計が平常点となり、100点満点の50%になります。最後の時間に定期考査を実施しますが、事前に問う分野、事項を大まかに予告しますので、落ち着いて講義に臨んでください。		
	回	内容	
	1	①生命とは何か。（生物と無生物の違い。）②細胞の発見（細胞研究の歴史③生命の最小単位である細胞内の細胞小器官の構造と働き④細胞分画法（小器官の成分や働きの解明方法）	
	2	⑤細胞をつくっている原形質の組成⑥生体内の化学反応と酵素の働き⑦酵素の基質特異性（各酵素の働く物質が異なっていること。）	
	3	⑧細胞膜の働き（浸透、および浸透圧。選択的透過性とそのしくみである能動輸送。）⑨成長や増殖の手段となる体細胞分裂の過程⑩細胞の分化と組織化（細胞が形態や機能が特殊化して組織を作っていくしくみ。）	

授業内容	4	生殖と発生①子孫を増やしていく生殖の方法 ②体が分裂して増殖する無性生殖。③雄雌がつくる配偶子の合体による増殖方法。④配偶子をつくる過程の減数分裂 ⑤精子や卵の形成
	5	⑥卵割の様式（受精卵の初期の細胞分裂の過程）⑦発生学の基本（ウニとカエルの発生過程）⑧カエルの卵割により、各箇所・各細胞が特殊化していくしくみ ⑨形成体の働き（分化を誘導していく部分）
	6	遺伝①遺伝学の出発・遺伝の法則 ②メンデルの功績と三大法則 ③メンデルの法則に当てはまらないいろいろな遺伝現象
	7	④遺伝子と染色体（遺伝子はどこに存在するか）⑤連鎖と組み替え（染色体上の遺伝子の行動）⑥染色体地図（特定の遺伝子がどのように染色体上に存在するか。）⑦雌雄を決定する性染色体に遺伝子が存在した場合の遺伝様式
	8	⑧遺伝子の本体の究明（肺炎双球菌による形質転換、バクテリオファージの増殖方法）⑨DNAの構造と複製方法、遺伝情報とは、どのようにして発現させるのか。
	9	動物の反応①刺激の受容と感覚について ②目の構造（網膜の視細胞、光量の調節、遠近の調節）③耳の構造（聞こえるしくみ、平衡感覚、化学物質の受容など）
	10	④神経単位であるニューロンの構造と機能 ⑤興奮がどのように神経線維を伝っていくか、どのようにして次のニューロンに伝達するか。
	11	⑥神経系（種類、脳や脊髄の中樞神経系と末梢神経系）の構造とその働き ②動物の反応と行動（筋収縮のしくみ）
	12	⑧恒常性と体液 ⑨血液の組成と働き ⑩動物ホルモンの働き。⑪自律神経系の働き
	13	⑫水分や浸透圧を調節する。⑬血糖値を一定に保つしくみ ⑭体温を一定に保つしくみ ⑮腎臓・肝臓の働き
	14	植物の反応 ①植物の水分の吸収と移動 ②光合成と呼吸 ③植物の反応と調節 ④ホルモンによる成長の調節。
	15	⑤いろいろな植物ホルモン（果実の成熟、細胞分裂、気孔の開閉、落葉、落果など）⑥花芽の形成の調節。⑦種子の発芽の調節。
	16	定期試験を50分間実施する。出題は6問、分野・内容・傾向は15回目の授業の後半に概要を連絡する。
	キーワード	毎時間の積み重ね
	教科書・教材・参考書	教科書「高等学校 改訂生物Ⅰ」（第一学習社）、毎時間サブノート形式のプリントを準備する。
	成績評価の方法・基準等	小テスト15回分をまとめて50点分、定期考査を50点分として、合わせて100点で評価する。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書を必ず購入すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	週一回の講義前後に教科書を読むことを勧めます。生物学に必要な基礎的な事項が書いてあります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015202	科目番号	05880152
授業科目名	●基礎生物		
編集担当教員	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者)	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平倉 充		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	hirakura@nibc.nibc.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	携帯電話 090-1924-6222		
担当教員オフィスアワー	質問はEメールで常時受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ	高校教科書「生物Ⅰ」（第一学習社）を使って、細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の全般を学習します。理系関係に進む者として、一般常識として身につけてほしい生物分野の知識や思考方法などを学びます。		
授業到達目標	教科書の平易な内容を常識的な知識として学習し、新聞や雑誌・テレビ等で取り上げられる生物分野の事項を正しく理解・判断し、考えが持てるようになる。教科書にそった簡単な内容の質問に、80%以上は解答できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	教科書の内容を、單元ごとに15時間に分けます。各時間、プリントを準備しますので、そのプリントに書き込みながら、授業内容を理解してください。各時間の最後に10分間の小テストを行い確認します。15回分を合計して、50点に換算し、それを平常点とします。定期考査として50点分のテストを実施し、合わせて100点で評価します。		
	授業内容：教科書の内容を15時間にわけ、單元ごとにまとめたテーマで学習していきます。教科書は高等学校「改訂生物Ⅰ」（第一学習社）を使います。各時間の終わりの10分間に、その前の時間の講義内容を確認する小テストを実施します。この小テストの成績の合計が平常点となり、100点満点の50%になります。最後の時間に定期考査を実施しますが、事前に問う分野、事項を大まかに予告しますので、落ち着いて講義に臨んでください。		
	回	内容	
	1	①生命とは何か。（生物と無生物の違い。）②細胞の発見（細胞研究の歴史③生命の最小単位である細胞内の細胞小器官の構造と働き④細胞分画法（小器官の成分や働きの解明方法）	
	2	⑤細胞をつくっている原形質の組成⑥生体内の化学反応と酵素の働き⑦酵素の基質特異性（各酵素の働く物質が異なっていること。）	
	3	⑧細胞膜の働き（浸透、および浸透圧。選択的透過性とそのしくみである能動輸送。）⑨成長や増殖の手段となる体細胞分裂の過程⑩細胞の分化と組織化（細胞が形態や機能が特殊化して組織を作っていくしくみ。）	

授業内容	4	生殖と発生①子孫を増やしていく生殖の方法 ②体が分裂して増殖する無性生殖。③雄雌がつくる配偶子の合体による増殖方法。④配偶子をつくる過程の減数分裂 ⑤精子や卵の形成
	5	⑥卵割の様式（受精卵の初期の細胞分裂の過程）⑦発生学の基本（ウニとカエルの発生過程）⑧カエルの卵割により、各箇所・各細胞が特殊化していくしくみ ⑨形成体の働き（分化を誘導していく部分）
	6	遺伝①遺伝学の出発・遺伝の法則 ②メンデルの功績と三大法則 ③メンデルの法則に当てはまらないいろいろな遺伝現象
	7	④遺伝子と染色体（遺伝子はどこに存在するか）⑤連鎖と組み替え（染色体上の遺伝子の行動）⑥染色体地図（特定の遺伝子がどのように染色体上に存在するか。）⑦雌雄を決定する性染色体に遺伝子が存在した場合の遺伝様式
	8	⑧遺伝子の本体の究明（肺炎双球菌による形質転換、バクテリオファージの増殖方法）⑨DNAの構造と複製方法、遺伝情報とは、どのようにして発現させるのか。
	9	動物の反応①刺激の受容と感覚について ②目の構造（網膜の視細胞、光量の調節、遠近の調節）③耳の構造（聞こえるしくみ、平衡感覚、化学物質の受容など）
	10	④神経単位であるニューロンの構造と機能 ⑤興奮がどのように神経線維を伝っていくか、どのようにして次のニューロンに伝達するか。
	11	⑥神経系（種類、脳や脊髄の中樞神経系と末梢神経系）の構造とその働き ②動物の反応と行動（筋収縮のしくみ）
	12	⑧恒常性と体液 ⑨血液の組成と働き ⑩動物ホルモンの働き。⑪自律神経系の働き
	13	⑫水分や浸透圧を調節する。⑬血糖値を一定に保つしくみ ⑭体温を一定に保つしくみ ⑮腎臓・肝臓の働き
	14	植物の反応 ①植物の水分の吸収と移動 ②光合成と呼吸 ③植物の反応と調節 ④ホルモンによる成長の調節。
	15	⑤いろいろな植物ホルモン（果実の成熟、細胞分裂、気孔の開閉、落葉、落果など）⑥花芽の形成の調節。⑦種子の発芽の調節。
	16	定期試験を50分間実施する。出題は6問、分野・内容・傾向は15回目の授業の後半に概要を連絡する。
	キーワード	毎時間の積み重ね
	教科書・教材・参考書	教科書「高等学校 改訂生物Ⅰ」（第一学習社）、毎時間サブノート形式のプリントを準備する。
	成績評価の方法・基準等	小テスト15回分をまとめて50点分、定期考査を50点分として、合わせて100点で評価する。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書を必ず購入すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	週一回の講義前後に教科書を読むことを勧めます。生物学に必要な基礎的な事項が書いてあります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015203	科目番号	05880152
授業科目名	●基礎生物		
編集担当教員	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者)	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平倉 充		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	hirakura@nibc.nibc.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	携帯電話 090-1924-6222		
担当教員オフィスアワー	質問はEメールで常時受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ	高校教科書「生物Ⅰ」（第一学習社）を使って、細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の全般を学習します。理系関係に進む者として、一般常識として身につけてほしい生物分野の知識や思考方法などを学びます。		
授業到達目標	教科書の平易な内容を常識的な知識として学習し、新聞や雑誌・テレビ等で取り上げられる生物分野の事項を正しく理解・判断し、考えが持てるようになる。教科書にそった簡単な内容の質問に、80%以上は解答できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	教科書の内容を、單元ごとに15時間に分けます。各時間、プリントを準備しますので、そのプリントに書き込みながら、授業内容を理解してください。各時間の最後に10分間の小テストを行い確認します。15回分を合計して、50点に換算し、それを平常点とします。定期考査として50点分のテストを実施し、合わせて100点で評価します。		
	授業内容：教科書の内容を15時間にわけ、單元ごとにまとめたテーマで学習していきます。教科書は高等学校「改訂生物Ⅰ」（第一学習社）を使います。各時間の終わりの10分間に、その前の時間の講義内容を確認する小テストを実施します。この小テストの成績の合計が平常点となり、100点満点の50%になります。最後の時間に定期考査を実施しますが、事前に問う分野、事項を大まかに予告しますので、落ち着いて講義に臨んでください。		
	回	内容	
	1	①生命とは何か。（生物と無生物の違い。） ②細胞の発見（細胞研究の歴史 ③生命の最小単位である細胞内の細胞小器官の構造と働き ④細胞分画法（小器官の成分や働きの解明方法）	
	2	⑤細胞をつくっている原形質の組成 ⑥生体内の化学反応と酵素の働き ⑦酵素の基質特異性（各酵素の働く物質が異なっていること。）	
	3	⑧細胞膜の働き（浸透、および浸透圧。選択的透過性とそのしくみである能動輸送。） ⑨成長や増殖の手段となる体細胞分裂の過程 ⑩細胞の分化と組織化（細胞が形態や機能が特殊化して組織を作っていくしくみ。）	

授業内容	4	生殖と発生①子孫を増やしていく生殖の方法 ②体が分裂して増殖する無性生殖。③雄雌がつくる配偶子の合体による増殖方法。④配偶子をつくる過程の減数分裂 ⑤精子や卵の形成
	5	⑥卵割の様式（受精卵の初期の細胞分裂の過程）⑦発生学の基本（ウニとカエルの発生過程）⑧カエルの卵割により、各箇所・各細胞が特殊化していくしくみ ⑨形成体の働き（分化を誘導していく部分）
	6	遺伝①遺伝学の出発・遺伝の法則 ②メンデルの功績と三大法則 ③メンデルの法則に当てはまらないいろいろな遺伝現象
	7	④遺伝子と染色体（遺伝子はどこに存在するか）⑤連鎖と組み替え（染色体上の遺伝子の行動）⑥染色体地図（特定の遺伝子がどのように染色体上に存在するか。）⑦雌雄を決定する性染色体に遺伝子が存在した場合の遺伝様式
	8	⑧遺伝子の本体の究明（肺炎双球菌による形質転換、バクテリオファージの増殖方法）⑨DNAの構造と複製方法、遺伝情報とは、どのようにして発現させるのか。
	9	動物の反応①刺激の受容と感覚について ②目の構造（網膜の視細胞、光量の調節、遠近の調節）③耳の構造（聞こえるしくみ、平衡感覚、化学物質の受容など）
	10	④神経単位であるニューロンの構造と機能 ⑤興奮がどのように神経線維を伝っていくか、どのようにして次のニューロンに伝達するか。
	11	⑥神経系（種類、脳や脊髄の中樞神経系と末梢神経系）の構造とその働き ②動物の反応と行動（筋収縮のしくみ）
	12	⑧恒常性と体液 ⑨血液の組成と働き ⑩動物ホルモンの働き。⑪自律神経系の働き
	13	⑫水分や浸透圧を調節する。⑬血糖値を一定に保つしくみ ⑭体温を一定に保つしくみ ⑮腎臓・肝臓の働き
	14	植物の反応 ①植物の水分の吸収と移動 ②光合成と呼吸 ③植物の反応と調節 ④ホルモンによる成長の調節。
	15	⑤いろいろな植物ホルモン（果実の成熟、細胞分裂、気孔の開閉、落葉、落果など）⑥花芽の形成の調節。⑦種子の発芽の調節。
	16	定期試験を50分間実施する。出題は6問、分野・内容・傾向は15回目の授業の後半に概要を連絡する。
	キーワード	毎時間の積み重ね
	教科書・教材・参考書	教科書「高等学校 改訂生物Ⅰ」（第一学習社）、毎時間サブノート形式のプリントを準備する。
	成績評価の方法・基準等	小テスト15回分をまとめて50点分、定期考査を50点分として、合わせて100点で評価する。
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書を必ず購入すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	週一回の講義前後に教科書を読むことを勧めます。生物学に必要な基礎的な事項が書いてあります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015301	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956-48-8620 <携帯>090-7921-8332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日 14:30～ (A-23教室)		
授業の概要及び位置づけ	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を理解させ、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、それぞれの学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用している教科書や参考書から抜き出した重要な公式や要点をプリントして配布し、授業で解説を加えていく。また、授業で解説した内容に関する演習問題を授業中や家庭学習で解くことにより、公式等を身につけ活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	・基礎学力診断テスト I 整式の分数式の計算 1.多項式の除法 2.分数式の計算	
	2	II 等式・不等式の証明 1.恒等式 2.等式の証明 3.不等式の証明	
	3	III 複素数と方程式 1.複素数 2.二次方程式の解と判別式	
	4	3.二次方程式の解と係数の関係 4.高次方程式	
	5	5.二次方程式の実数解の符号 6.二次方程式の次数解と次数kとの大小関係	
	6	IV 図形と方程式 1.平面上の点 2.直線の方程式	
	7	V 指数関数 1.指数の拡張 2.指数関数	
		VI 対数関数	

授業内容	8	1.対数の定義 2.対数の性質 3.対数関数
	9	・中間テスト（8回目までの範囲）
	10	VII 微分法とその応用 1.極限と導関数 ①関数の極限 ②微分法 ③微分法の公式
	11	2.接線・増減・極値 ①接線の方程式 ②関数の増減 ③関数の極値
	12	2.接線・増減・極値 ④三次関数の性質 ⑤最大・最小 ⑥方程式の実数解の個数
	13	VIII 積分法とその応用 1.不定積分・定積分
	14	2.定積分で表された関数 3.面積
	15	IX 確率 1.試行と事象 2.確率の定義 3.確率の基本性質 4.独立な試行の確率
	16	・前期期末テスト（中間テスト以降から確率まで）
キーワード	1時間1時間の授業を大切にし、予習・復習を確実にやる。	
教科書・教材・参考書	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を加えたい。	
成績評価の方法・基準等	評価は、中間テストと期末テストの平均点、毎時間の講義の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
受講要件（履修条件）	16回の講義に毎時間確実に出席すること。予習・復習を必ず行うこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	数学が苦手な学生、数学Ⅱの内容が十分身につけていないと思われる学生は履修するのが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015302	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956-48-8620 <携帯>090-7921-8332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日 14:30～ (A-23教室)		
授業の概要及び位置づけ	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を理解させ、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、それぞれの学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用使用する教科書や参考書から抜き出した重要な公式や要点をプリントして配布し、授業で解説を加えていく。また、授業で解説した内容に関する演習問題を授業中や家庭学習で解くことにより、公式等を身につけ活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	・基礎学力診断テスト I 整式の分数式の計算 1.多項式の除法 2.分数式の計算	
	2	II 等式・不等式の証明 1.恒等式 2.等式の証明 3.不等式の証明	
	3	III 複素数と方程式 1.複素数 2.二次方程式の解と判別式	
	4	3.二次方程式の解と係数の関係 4.高次方程式	
	5	5.二次方程式の実数解の符号 6.二次方程式の次数解と次数kとの大小関係	
	6	IV 図形と方程式 1.平面上の点 2.直線の方程式	
	7	V 指数関数 1.指数の拡張 2.指数関数	
		VI 対数関数	

授業内容	8	1.対数の定義 2.対数の性質 3.対数関数
	9	・中間テスト（8回目までの範囲）
	10	VII 微分法とその応用 1.極限と導関数 ①関数の極限 ②微分法 ③微分法の公式
	11	2.接線・増減・極値 ①接線の方程式 ②関数の増減 ③関数の極値
	12	2.接線・増減・極値 ④三次関数の性質 ⑤最大・最小 ⑥方程式の実数解の個数
	13	VIII 積分法とその応用 1.不定積分・定積分
	14	2.定積分で表された関数 3.面積
	15	IX 確率 1.試行と事象 2.確率の定義 3.確率の基本性質 4.独立な試行の確率
	16	・前期期末テスト（中間テスト以降から確率まで）
キーワード	1時間1時間の授業を大切にし、予習・復習を確実にやる。	
教科書・教材・参考書	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を加えたい。	
成績評価の方法・基準等	評価は、中間テストと期末テストの平均点、毎時間の講義の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
受講要件（履修条件）	16回の講義に毎時間確実に出席すること。予習・復習を必ず行うこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	数学が苦手な学生、数学Ⅱの内容が十分身につけていないと思われる学生は履修するのが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015303	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956-48-8620 <携帯>090-7921-8332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日 14:30～ (B-15教室)		
授業の概要及び位置づけ	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を理解させ、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、それぞれの学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用使用する教科書や参考書から抜き出した重要な公式や要点をプリントして配布し、授業で解説を加えていく。また、授業で解説した内容に関する演習問題を授業中や家庭学習で解くことにより、公式等を身につけ活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	・基礎学力診断テスト I 整式の分数式の計算 1.多項式の除法 2.分数式の計算	
	2	II 等式・不等式の証明 1.恒等式 2.等式の証明 3.不等式の証明	
	3	III 複素数と方程式 1.複素数 2.二次方程式の解と判別式	
	4	3.二次方程式の解と係数の関係 4.高次方程式	
	5	5.二次方程式の実数解の符号 6.二次方程式の次数解と次数kとの大小関係	
	6	IV 図形と方程式 1.平面上の点 2.直線の方程式	
	7	V 指数関数 1.指数の拡張 2.指数関数	
		VI 対数関数	

授業内容	8	1.対数の定義 2.対数の性質 3.対数関数
	9	・中間テスト（8回目までの範囲）
	10	VII 微分法とその応用 1.極限と導関数 ①関数の極限 ②微分法 ③微分法の公式
	11	2.接線・増減・極値 ①接線の方程式 ②関数の増減 ③関数の極値
	12	2.接線・増減・極値 ④三次関数の性質 ⑤最大・最小 ⑥方程式の実数解の個数
	13	VIII 積分法とその応用 1.不定積分・定積分
	14	2.定積分で表された関数 3.面積
	15	IX 確率 1.試行と事象 2.確率の定義 3.確率の基本性質 4.独立な試行の確率
	16	・前期期末テスト（中間テスト以降から確率まで）
キーワード	1時間1時間の授業を大切にし、予習・復習を確実にやる。	
教科書・教材・参考書	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を加えたい。	
成績評価の方法・基準等	評価は、中間テストと期末テストの平均点、毎時間の講義の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
受講要件（履修条件）	16回の講義に毎時間確実に出席すること。予習・復習を必ず行うこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	数学が苦手な学生、数学Ⅱの内容が十分身につけていないと思われる学生は履修するのが望ましい。	



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015401	科目番号	05880154
授業科目名	●基礎英語		
編集担当教員	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者)	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金子 修司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生 (クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	skaneko@mxb.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー	水曜日 15時45分～16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、精読演習を通して長文読解力の養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶこと等により、大学英語へ繋がるようにする。</p>		
授業到達目標	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法)	<p>演習および講義形式とする。 (1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎、評論文読解法を習得する。 (3) 音声教材を使用し、概要と情報を正確に聞き取る力を習得する。 (4) 学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
	<p>(1) 授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。 (3) リーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。 ○使用問題集：①英語構文問題集 ②演習英文プリント：読解力養成 ③辞書使用</p>		
	回	内容	

授業内容	1	オリエンテーション（授業の進め方について） ○英語基礎テスト （1）Itを中心とした構文+Evaluation Testを実施する
	2	（2）助動詞を使った構文 ○プリント教材（パラグラフの基本的な構造）
	3	（3）不定詞を使った構文 ①PASSAGE-1（プリント）
	4	（4）動名詞を使った構文 ②PASSAGE-2（プリント）
	5	（5）分詞を使った構文 ③PASSAGE-3（プリント）
	6	（6）第5文型の構文 ④PASSAGE-4（プリント）
	7	（7）比較構文 ⑤PASSAGE-5（プリント）
	8	中間テスト （8）時を表す構文
	9	（9）関係詞を使った構文 ⑥PASSAGE-6（プリント）
	10	（10）条件・仮定を表す構文 ⑦PASSAGE-7（プリント）
	11	（11）譲歩を表す構文 ⑧PASSAGE-8（プリント）
	12	（12）相関関係を表す構文 ⑨PASSAGE-9（プリント）
	13	（13）否定構文 ⑩PASSAGE-10（プリント）
	14	（14）無生物主語と名詞構文 ⑪PASSAGE-11（プリント）
	15	（15）その他の構文（プリント） ⑫PASSAGE-12（プリント）
	16	定期試験
キーワード	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟	
教科書・教材・参考書	英語構文（2週間完成）（日英社）（学内書店にて販売） 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。	
成績評価の方法・基準等	（1）定期考査60%（2）中間テスト30%（1）授業中の発表（小テストを含む）10%	
受講要件（履修条件）	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015402	科目番号	05880154
授業科目名	●基礎英語		
編集担当教員	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者)	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金子 修司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	skaneko@mxb.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー	水曜日 15時45分～16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、精読演習を通して長文読解力の養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶこと等により、大学英語へ繋がるようにする。</p>		
授業到達目標	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用される教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>演習および講義形式とする。(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎、評論文読解法を習得する。 (3) 音声教材を使用し、概要と情報を正確に聞き取る力を習得する。 (4) 学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
	<p>(1) 授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。 (3) リーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。 ○使用問題集：①英語構文問題集 ②演習英文プリント：読解力養成 ③辞書使用</p>		
	回	内容	
		オリエンテーション（授業の進め方について）	

授業内容	1	○英語基礎テスト (1) Itを中心とした構文+Evaluation Testを実施する
	2	(2) 助動詞を使った構文 ○プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)
	3	(3) 不定詞を使った構文 ①PASSAGE-1 (プリント)
	4	(4) 動名詞を使った構文 ②PASSAGE-2 (プリント)
	5	(5) 分詞を使った構文 ③PASSAGE-3 (プリント)
	6	(6) 第5文型の構文 ④PASSAGE-4 (プリント)
	7	(7) 比較構文 ⑤PASSAGE-5 (プリント)
	8	中間テスト (8) 時を表す構文
	9	(9) 関係詞を使った構文 ⑥PASSAGE-6 (プリント)
	10	(10) 条件・仮定を表す構文 ⑦PASSAGE-7 (プリント)
	11	(11) 譲歩を表す構文 ⑧PASSAGE-8 (プリント)
	12	(12) 相関関係を表す構文 ⑨PASSAGE-9 (プリント)
	13	(13) 否定構文 ⑩PASSAGE-10 (プリント)
	14	(14) 無生物主語と名詞構文 ⑪PASSAGE-11 (プリント)
	15	(15) その他の構文 (プリント) ⑫PASSAGE-12 (プリント)
	16	定期試験
キーワード	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟	
教科書・教材・参考書	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。	
成績評価の方法・基準等	(1) 定期考査60% (2) 中間テスト30% (1) 授業中の発表 (小テストを含む) 10%	
受講要件 (履修条件)	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588015403	科目番号	05880154
授業科目名	●基礎英語		
編集担当教員	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者)	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金子 修司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	skaneko@mxm.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー	水曜日 15時45分～16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。高等学校で学習した基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を演習形式で確認し応用力を身につける。英文読解の基礎力・応用力を習得する。併せて音読練習を行う。</p>		
授業到達目標	<p>(1) 前期及び高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用力を身につける。 (2) 評論文の精読を行い、基本的な読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料等を理解できるようにする。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどを聞き取り、概要や要点を聞き取ることができるようにする。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>演習および講義形式とする。基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材により、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。英文読解についてはパラグラフリーディングの基礎、評論文の読解法などのプリント教材を使って習得を図る。学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
	<p>(1) 学習内容について毎時小テストを行う。テスト内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。基本的な文法事項、熟語、語彙問題を含む。 (2) 英語構文問題集を使用して演習を行い、基本的な構文、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。 (3) プリント教材を使用し、パラグラフ・リーディングによる大意把握と論理的読解法による精読演習を行う。 使用問題集：①基本構文問題集 ②読解演習英文プリント配付 ③辞書使用</p>		
	回	内容	
	1	<p>オリエンテーション（授業の進め方について） (1) Itを中心とした構文 + Evaluation Testを実施する。</p>	
	2	<p>(2) 助動詞を使った構文 ○プリント教材（パラグラフの基本的な構造）</p>	

授業内容	3	(3) 不定詞を使った構文 ①PASSAGE-1 (プリント)	
	4	(4) 動名詞を使った構文 ②PASSAGE-2 (プリント)	
	5	(5) 分詞を使った構文 ③PASSAGE-3 (プリント)	
	6	(6) 第5文型の構文 ④PASSAGE-4 (プリント)	
	7	(7) 比較構文 ⑤PASSAGE-5 (プリント)	
	8	中間テスト (8) 時を表す構文	
	9	(9) 関係詞を使った構文 ⑥PASSAGE-6 (プリント)	
	10	(10) 条件・仮定を表す構文 ⑦PASSAGE-7 (プリント)	
	11	(11) 譲歩を表す構文 ⑧PASSAGE-8 (プリント)	
	12	(12) 相関関係を表す構文 ⑨PASSAGE-9 (プリント)	
	13	(13) 否定構文 ⑩PASSAGE-10 (プリント)	
	14	(14) 無生物主語と名詞構文 ⑪PASSAGE-11 (プリント)	
	15	(15) その他の構文 (プリント) ⑫PASSAGE-12 (プリント)	
	16	定期試験	
	キーワード	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟	
	教科書・教材・参考書	英語構文(2週間完成)(日栄社)(学内書店にて販売) 基本的な構文、頻出文法事項プリント+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。	
成績評価の方法・基準等	(1) 定期考査60% (2) 中間テスト30% (1) 授業中の発表(小テストを含む)10%		
受講要件(履修条件)	全回出席を原則とする。英語辞書ノートを持参すること。		
備考(URL)			
学生へのメッセージ			



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20140588020901	科目番号	05880209
授業科目名	●English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生 (クラス等)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ	このクラスは、TOEICに特化した形での演習を徹底的に行うことにより、TOEIC形式に慣れ、得点のアップに必要なスキルを教授する。ただし、単なる TOEIC対策ではなく、将来的に英語力を絶えず伸ばせるような内容の授業を行い、学生の専門分野で役立つリスニングやリーディング力の養成も行う。		
授業到達目標	最初の授業で模擬のTOEICを受けてもらうが、7月の全学TOEICまでに、各自100点アップできるようにする。		
授業方法 (学習指導法)	演習形式で行う。授業の前半では、CLL機能を用いて、いろいろなタイプのTOEICリスニング問題に挑戦し、正確に聞き取れるように訓練する。後半では、TOEICによく出る語彙の学習やリーディング問題や文法問題に挑戦し、ポイントを押さえながら指導する。		
	授業は、前半はCDを利用して、徹底的にリスニングを鍛えます。後半は、プリントやテキストを利用して、解法のコツを教授するとともに、多様な読みに対応できるように、テキストをたくさん読みます。また、実践問題をたくさん解き、パターンに慣れるようにします。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション TOEIC 模擬テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	2	TOEIC 模擬 テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	3	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
		TOEIC 問題練習	

授業内容	4	リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	5	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	6	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	7	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	8	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	9	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	10	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	11	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	12	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	13	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	14	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習	
	15	TOEIC模擬試験と解答	
	16	TOEIC模擬試験と解答	
	キーワード	TOEIC , スキミング、スキヤニング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： 最初の模擬試験の後指示します。1,800円程度の予定です。 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○14回目、15回目の模擬試験60%、小テスト20%、 授業中の発表20%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦している e-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです。		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20140588021001	科目番号	05880210
授業科目名	●English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生 (クラス等)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部1階)		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ	この授業では、TOEIC対策に特化した形での演習を徹底的に行うことにより、まずTOEICの問題形式に慣れ、どのような学習法がTOEICの飛躍的スコア・アップにつながるかを教授する。また、英語力一般にも資するような形での解説を行う。		
授業到達目標	受講する学生には、全員550点をクリアしてもらいたい。		
授業方法 (学習指導法)	授業の前半では、リスニングのテストゼミを行い、その後、ポイントを押さえた形での解答解説を行う。授業の後半では、テキストを用いて少なくとも Drillを3セクションずつ進んでいく形式とする。学生は、TOEICあるいはTOEIC-IPを必ず受験すること。		
授業内容	回	内容	
	1	Listening 1, Drill 1-3	
	2	Listening 2, Drill 4-6	
	3	Listening 3, Drill 7-9	
	4	Listening 4, Drill 10-12	
	5	Listening 5, Drill 13-15	
	6	Listening 6, Drill 16-18	
	7	Listening 7, Drill 19-21	
	8	Listening 8, Drill 22-24	
	9	Listening 9, Drill 25-27	
	10	Listening 10, Drill 28-30	
	11	Listening 11, Drill 31-33	
	12	Listening 12, Drill 34-36	

	13	Listening 13, プリント教材
	14	Sample Test (1)
	15	Sample Test (2)
	16	
キーワード	TOEIC, listening, grammar, reading	
教科書・教材・参考書	New Steps to Success in the TOEIC® Listening WORKBOOK 3 / 「新TOEIC® リスニング対策上級挑戦問題集」 David E. Bramley / 中井弘一, 松柏社, 1,155円 (税込)	
成績評価の方法・基準等	授業時に行うリスニングテスト(30%), 授業時の取り組み(30%), Sample Test (40%) ただし、学生が自発的に受験したTOEICあるいはTOEIC-IPで入学時のスコアより30点以上伸びた学生には10点を、50点以上伸びた学生には 20点、それぞれ総合成績に加点する。	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140590090501	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 黒滝 直弘, 安部 俊二, 篠崎 正人		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部、1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	4月9日 戸田 ナガサキから平和学する。原爆の非人道性と違法性（戦争犯罪）。核兵器と核発電。	
	2	4月16日 戸田 日本とドイツの戦争犯罪	
	3	4月23日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉作戦、劣化ウラン弾	
	4	4月30日 安部俊二 近代日本の教育（小学校）	
	5	5月7日 安部 近代日本の教育（大学）	
	6	5月14日 安部 近代日本の教育（軍隊1）	
	7	5月21日 安部 近代日本の教育（軍隊2）	
8	5月28日 安部 私の被爆体験 池田早苗さん証言		

	9	6月4日 安部 私の被爆体験 西山進さん証言
	10	6月11日 西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周
	11	6月18日 西岡 いのちを守るまちづくり
	12	6月25日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保①
	13	7月2日 篠崎 有事体制と長崎・佐世保②
	14	7月9日 黒滝直弘 健康格差について①
	15	7月16日 黒滝 健康格差について②
	16	定期試験は行いません
キーワード	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、アヘン、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
学生へのメッセージ	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争と平和、暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140590090502	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 冨塚 明, 国武 雅子, 関口 達夫		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生 (クラス等)	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身隊動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚 雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業方法 (学習指導法)	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	10月1日 戸田 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性	
	2	10月8日 国武雅子 女性の戦争協力	
	3	10月15日 国武 銃後の生活	
	4	10月22日 国武 日本軍「慰安婦」問題①	
	5	10月29日 国武 日本軍「慰安婦」問題②	
	6	11月5日 戸田 日独の戦争犯罪	
	7	11月12日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、枯葉作戦、劣化ウラン弾	
8	11月19日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験		

	9	11月26日 山崎年子 二重被爆の父と生きる
	10	12月3日 富塚明 核兵器廃絶運動と原爆症認定裁判
	11	12月10日 富塚 日米安保体制と原発
	12	12月17日 藤田祐幸 福島原発事故
	13	12月24日 藤田 日本の政策と潜在的核武装
	14	1月7日 関口達夫 長崎原爆を報道する①
	15	1月14日 関口 長崎原爆を報道する②
	16	定期試験は行いません
キーワード	昭和史、戦争、暴力、平和、原爆、原発、劣化ウラン、枯葉剤、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント教材を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
学生へのメッセージ	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争と平和、暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20140590090601	科目番号	05900906																				
授業科目名	●キャリア概論																						
編集担当教員	深尾 典男																						
授業担当教員名(科目責任者)	深尾 典男																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深尾 典男																						
科目分類	自由選択科目、総合科学科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-24																						
対象学生（クラス等）	全学部																						
担当教員Eメールアドレス	fukao@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室	広報戦略本部（事務局棟2F）																						
担当教員TEL	819-2008																						
担当教員オフィスアワー																							
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と社会の関係について学ぶ ・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ ・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する ・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身につける 																						
授業到達目標	社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする。授業を通して自らのキャリアデザインを行い、大学生活を通じた学びのために、学士課程教育で身につけるべき素養の目標設定を行う。																						
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメに基づいて授業を進める。適宜、討論の時間を設け、受講生は授業内で発表を行う。多面的な知識、基本的な素養を身につけてもらうため、ゲスト講師も招聘する予定。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>キャリア概論の概要と狙い</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>社会理解1（業種・職種の理解）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>社会参画で求められる素養1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>社会参画で求められる素養2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>社会理解2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>社会理解3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>社会参画で求められる素養3</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>社会参画で求められる素養4</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>能力を高める1（就活の現場から）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	キャリア概論の概要と狙い	2	社会理解1（業種・職種の理解）	3	社会参画で求められる素養1	4	社会参画で求められる素養2	5	社会理解2	6	社会理解3	7	社会参画で求められる素養3	8	社会参画で求められる素養4	9	能力を高める1（就活の現場から）
回	内容																						
1	キャリア概論の概要と狙い																						
2	社会理解1（業種・職種の理解）																						
3	社会参画で求められる素養1																						
4	社会参画で求められる素養2																						
5	社会理解2																						
6	社会理解3																						
7	社会参画で求められる素養3																						
8	社会参画で求められる素養4																						
9	能力を高める1（就活の現場から）																						

	10	能力を高める2 (文章能力)
	11	能力を高める3 (プレゼンテーション)
	12	能力を高める4 (コミュニケーション)
	13	キャリアプランの作成
	14	キャリアプランの発表1
	15	キャリアプランの発表2
	16	
キーワード	キャリア、社会人基礎、コミュニケーション、プレゼンテーション	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行う。関係する資料等については、eラーニングシステムを利用して配布する。参考文献は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	出席状況と受講態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況を総合的に評価する。	
受講要件 (履修条件)	全講義を出席できることを受講要件とする。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		

